

田川広域定住自立圏共生ビジョン

田川市、香春町、添田町、糸田町
川崎町、大任町、赤村、福智町

平成29年10月

目 次

1. 定住自立圏共生ビジョンについて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	
(2) 定住自立圏の名称	
(3) 圏域を形成する市町村の名称	
(4) 共生ビジョンの期間	
2. 圏域の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 圏域市町村の概況	
(2) 人口	
(3) 産業	
(4) 主要施設	
(5) 公共交通	
(6) 中心市の都市機能の集積状況	
3. 圏域の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・	23
(1) 圏域の課題	
(2) 圏域の将来像	
4. 具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・・	25
5. 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	46
(1) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催状況	
(2) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	
(3) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	

1. 定住自立圏共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏とは、「中心市」と「近隣市町村」が連携して、都市圏への人口流出を防ぐとともに、定住を進めるために形成する圏域です。圏域内の各市町村は、独自性を互いに尊重しながら、連携・役割分担して地域の活性化に向けた取組を推進することで、定住に向けた機能の充実や地域の魅力向上を目指します。

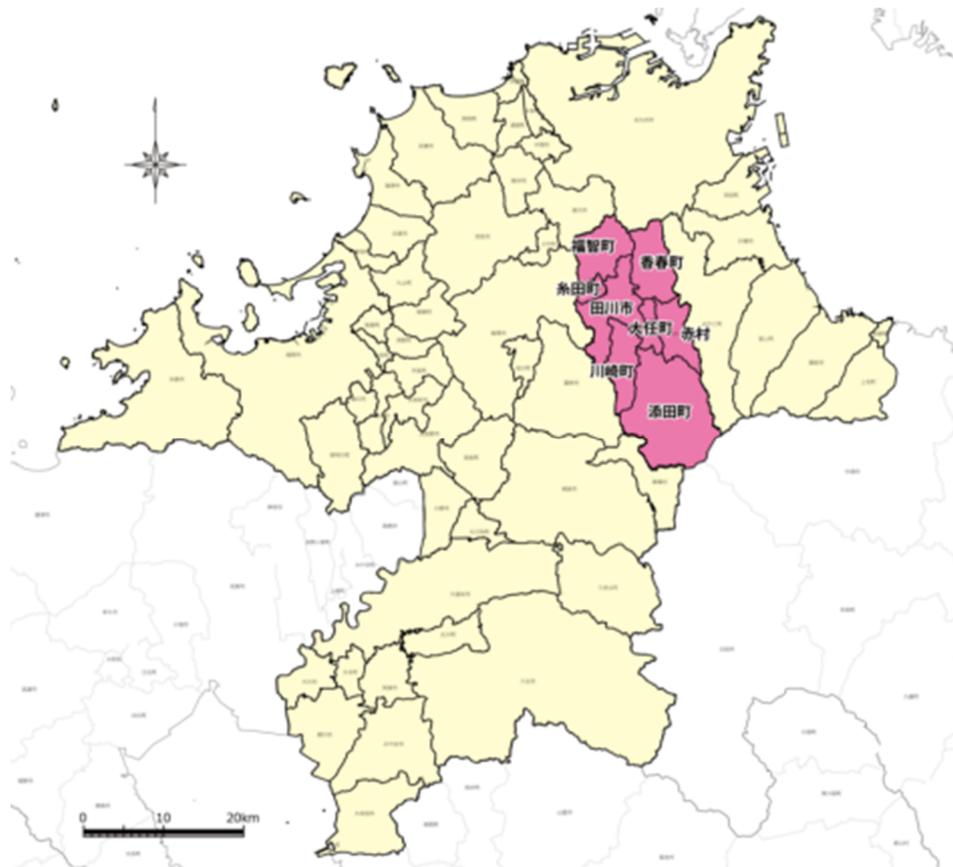
本共生ビジョンは、田川圏域における定住自立圏の将来像や、その実現のために圏域市町村が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。

(2) 定住自立圏の名称

田川広域定住自立圏

(3) 圏域を形成する市町村の名称

田川市、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町



(出典: 国土地理院地図を加工して作成)
<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

(4) 共生ビジョンの期間

共生ビジョンの期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間とします。

2. 圏域の概況

(1) 圏域市町村の概況

 <p>田川市 人口:48,441人 面積:54.55km² ひとを育て自然と産業が共に息づくまち 田川 ～活力あるものづくり産業都市を目指して～</p>	<p>【特産品】 ○小松菜 ○アスパラガス ○パプリカ ○いちじく ○金川牛 ○養豚・鶏卵 ○トルコギキョウ ○電照キク ○アスター ○チョコレート菓子 ○漆喰</p> <p>【観光施設】 ○田川市石炭・歴史博物館 ○田川市美術館</p> <p>【主な催し】 ○風治八幡宮川渡り神幸祭(5月) ○春日神社神幸祭(5月) ○TAGAWA コールマイン・フェスティバル(11月)</p>
<p>田川市は、福岡県の北東部に位置し、東、西、南の三方を山々に囲まれた田川盆地のほぼ中央部にあります。</p> <p>かつて黒いダイヤと言われた石炭の産地として隆盛を極め、本市が発祥の地とされる炭坑節をはじめ、二本煙突、伊田堅坑櫓、さらには、ユネスコ世界の記憶(世界記憶遺産)に日本初で登録された「山本作兵衛翁の炭坑記録画及び記録文書」といった有形無形の様々な炭鉱遺産があります。</p> <p>また、福岡県の五大祭りの一つに数えられ、福岡県指定無形民俗文化財である「風治八幡宮川渡り神幸祭」や、豊前神楽の一つとして国の重要無形文化財に指定された「春日神社岩戸神楽」など、古くから受け継がれてきた伝統行事があります。</p>	 <p>二本煙突と伊田堅坑櫓</p>
 <p>香春町 人口:10,861人 面積:44.50km² 好きです♥かわら町 ーみんなが笑顔で暮らすまち みんなに選ばれるまち みんなでつくるまちー</p>	<p>【特産品】 ○干柿 ○たけのこ ○梅 ○陶芸品 ○竹炭</p> <p>【観光施設】 ○呉ダム溪流公園 ○道の駅香春</p>
<p>香春町は福岡県のほぼ中央に位置し、四方を緑の山並みに囲まれた自然豊かな景観と資源に恵まれています。町のシンボルである香春岳は、五木寛之氏の小説「青春の門」に登場したことで広く知られています。</p> <p>本町の地名は八世紀に編集された「豊前国風土記」に登場し、古代朝鮮語に語源を探ることができることから朝鮮半島や中国と密接なつながりがあったことが分かります。「万葉集」でもその地名が七首詠まれているほど古い歴史を持つ町であり、大宰府と奈良を結ぶ官道「田河道」沿いの宿駅として繁栄しました。</p> <p>現在も国道201号線と322号線の主要幹線道により、福岡都市圏と北九州都市圏を結ぶ交通の要衝となっています。</p>	<p>【主な催し】 ○古宮八幡神幸祭(4月) ○ふる里かわら夏まつり盆踊り大会(8月) ○鶴岡八幡神社秋季例大祭(10月) ○ふる里かわら秋まつり(11月)</p>  <p>筑豊のシンボルである香春岳</p>



添田町

人口:9,924人

面積:132.20km²

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち
～ まちはひと ひとまちはまち 連携と協働でつくる自立のまち ～

添田町は福岡県の東南部に位置し、南部は北部九州の最高峰英彦山(1,199m)や鷹巣山(979m)を境に大分県日田市、中津市と接していません。

日本三大修験道霊山のひとつとして古くから多くの信仰を集めた「英彦山」には、国指定重要文化財に登録されている「英彦山神宮奉幣殿」や「銅鳥居」があります。

参道周辺にはたくさんの宿坊跡や名所があり、歴史や文化が豊富です。

自然豊かな「英彦山」では、四季折々の景色を楽しむこともできます。

また、道の駅歓遊舎ひこさんでは添田町で採れた新鮮な野菜や特産品を販売する「物産館」や、お食事のできる「レストラン」、さらに子どもが遊べる施設も併設されています。

【特産品】

- トルコギキョウ ○柚子ごしょう ○白菜
- 彦山がらがら ○豆腐 ○ヤマメ ○味噌
- 英彦山サイダー ○キャベツ ○いちご

【観光施設】

- 道の駅歓遊舎ひこさん ○英彦山花園
- 英彦山温泉しゃくなげ荘
- ひこさんホテル和 ○英彦山スロープカー

【主な催し】

- 添田公園花まつり(3～4月)
- そえだ花火大会(8月)
- 英彦山サイクルタイムトライアル大会(9月)
- ふる里まつり(10月)



英彦山神宮奉幣殿



糸田町

人口:9,020人

面積:8.04km²

たくさんの人に愛される みんなのふるさと 糸田町

糸田町は、福岡県のほぼ中央、田川盆地の北西に位置する県内で2番目に小さな町です。

かつては筑豊炭田の繁栄を担い、豊穡な耕地と豊富な湧水に恵まれた、稲作文化の先進地でもあります。毎年3月15日に豊作を祈って行われる「田植祭」、300年以上の歴史を誇る「糸田祇園山笠」など、古くからの伝統が今なお受け継がれています。

福岡市と北九州市を結ぶ国道201号線沿いにある「道の駅いとだ」は、地産地消の促進と情報発信の拠点として利活用されています。道の駅から車で約2分、筑豊・鳥尾トンネルのすぐ近くにある「金山アジサイ園」には15種類7,000株のアジサイが群生。毎年6月から7月にかけて色とりどりの花が咲き誇り、観光客が多く訪れる風光明媚な場所となっています。

【特産品】

- 陶芸品 ○木工品 ○いちご
- 洋ラン ○スプレー菊 ○電照菊
- 小松菜 ○スッポン ○米 ○味噌
- ジャム ○羊羹 ○ホルモン

【観光施設】

- 道の駅いとだ

【主な催し】

- 金村神社田植祭(3月)
- 糸田祇園山笠(5月)
- いいばいとってもだいすき祭(11月)



糸田祇園山笠



川崎町

人口:16,789人

面積:36.14km²

住みたい、住みつづきたい ～川崎町～

川崎町は、福岡県の中央に位置し、東西4.9km、南北12.6km、総面積36.14km²の南北に長い地形で、風水害も少ない田園風景広がる自然豊かな町です。綺麗な水に盆地特有の寒暖差もあり、美味しい野菜やお米が収穫されます。

春は桜、夏は向日葵、秋は彼岸花や紅葉、冬は雪景色といった四季折々で様々な自然風景を楽しむことができます。

イベントでは毎年、春に国内最大規模のパンイベント「かわさきパン博」、秋に「あたか棚田彼岸花まつり」が開催されるなど、子どもからお年寄りまで多くの人たちに楽しんでいただけます。

また、室町時代の水墨画家「雪舟」が築いた国指定名勝庭園「魚楽園」など、豊富な自然環境、歴史、文化に恵まれた町です。

【特産品】

- 酢 ○ぶどう ○梨 ○いちご
- はちみつ ○梅 ○りんご ○小松菜
- 玉ねぎ ○ゆず ○ほうれんそう
- レモン

【観光施設】

- 安宅交流センター
- 農産物直売所・加工所「De・愛」

【主な催し】

- かわさきパン博(4月)
- 田原正八幡神社神幸祭杖楽(5月)
- あたか棚田彼岸花まつり(9月)



あたか棚田彼岸花まつり



大任町

人口:5,176人

面積:14.26km²

人と自然にやさしいまちづくり

北九州から大分・熊本を結ぶ観光ルートの中間に位置する大任町は「美しいまち おおとう」の実現と交流人口の増加に向けた取組を行っています。

町内を南北に走る大任中央線の歩道では、春は桜、秋は紅葉が町を彩り、また、沿道にある花公園では、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスの花が約1.2haの敷地一面を覆い、町を訪れた人々を楽しませてくれます。

町の中心にある道の駅おおとう桜街道は、新鮮野菜や地域の特産物を取り揃えた物産館「もみじ館」、ローラーすべり台やゴーカートなどがある「親子ふれあい広場」、天然温泉だけでなく薬石浴も楽しめる温浴施設「さくら館」など、年間来場者約120万人の魅力あふれる観光スポットとなっています。

【特産品】

- ニンニク球 ○城乃越焼 ○いちご ○栗
- にんにくごしょう ○トルコギキョウ
- 桜マンゴー ○おおとう桜街道とうふ
- おおとう大ちゃん納豆 ○ゆずごしょう

【観光施設】

- 道の駅おおとう桜街道 ○サボテンハウス
- 花公園 ○おおとう桜街道ドックラン

【主な催し】

- 花としじみの里おおとうマラソン&花いっぱいフェスティバル(4月)
- 道の駅おおとう桜街道夏祭り(8月)
- しじみ祭り(10月)



の花景色も楽しめる展望台から



赤村

人口:3,022人

面積:31.98km²

Do You 農? 緑と清流とほたるの里

赤村は、英彦山から扇状に走った山麓に挟まれた細長い盆地で、英彦山を源流とした今川が流れています。土地は肥沃で昔ながらの良質米が生産されており、山間部一帯では緑と清流が作りだした素晴らしい景観に恵まれています。市町村合併に頼らず、120年間も村であり続ける、小さくても豊かな自立経営を志してきました。

また、県内で唯一「有機農業推進モデルタウン」の指定を受け、環境配慮型の農業に力を入れているほか、31年の歴史を持ち近隣の都市農村交流事業の先駆けとなった体験型農業イベント「DO YOU農?」、じーちゃんがつくる新鮮な朝どれ野菜や、元気なかーちゃんがつくる弁当・惣菜が並ぶ「赤村特産物センター」など、多くの村民に支えられて、さらに多くの村外ファンを持つ村です。

【特産品】

- 米 ○白菜 ○豚 ○花き(菊・トルコ桔梗等)
- 黒毛和牛 ○すいか ○豆腐 ○味噌
- 加工品(もち・パン・大豆菓子等)
- まくわうり ○夏秋ナス ○トマト

【観光施設】

- 赤村特産品センター ○源じいの森温泉

【主な催し】

- OA HAPPY 新湯 YEAR(1月)
- 源じいの森温泉誕生祭(3月)
- 大内田岩戸神楽(4月)
- ODO YOU 農?ザ・田植え(5月)
- ODO YOU 農?ザ・みのり(9月)



31年目を迎えた
DO YOU 農?



福智町

人口:22,871人

面積:42.06km²

ときめくまち、福智。癒し、うるおい、感動タウン

まちの象徴「福智山」の懷に抱かれ、悠久の歴史を重ねてきた福智町は、県内最大最古の「虎尾桜」や樹齢500年の「迎接の藤」、上野峡の「白糸の滝」など、四季折々の花や自然に彩られています。

国指定史跡や足利尊氏ゆかりの「興国寺」、400年以上の歴史がある国指定伝統的工芸品の「上野焼」や勇壮華麗な「山笠競演会」、数々の童謡を残した河村光陽の生誕地としての誇れる文化など、多彩な魅力と豊かな人情に育まれた町でもあります。

近年では九州最大規模の「福智スイーツ大茶会」やご当地グルメ、良質な温泉なども定着し、地域ブランド化も深化してきました。

また、新たなまちの拠点として図書館・歴史資料館・ものづくり工房などを兼ね備えた多機能型施設も整備し、小さな町にしかできない地方創生に、誇りをもって挑み続けています。

【特産品】

- 赤池梨 ○あまおう苺 ○とよみつひめ
- 上野の里米 ○上野焼
- ふくち☆リッチジェラート ○方城すいとん

【観光施設】

- ほうじょう温泉ふじ湯の里
- 上野の里ふれあい交流会館(陶芸館)
- ふるさと交流館 日王の湯
- 図書館・歴史資料館「ふくちのち」

【主な催し】

- 上野焼陶器祭り(4月)
- へいちくフェスタ(10月)
- 福智スイーツ大茶会(10月)
- 上野焼秋の窯開き(10月)



福智山連峰

(2) 人口

① 人口推移

- 国勢調査の結果から見ると、田川圏域の人口は減少が続いており、直近の平成 27 年には 13 万人を割り込んでいます。

【田川圏域の人口推移】

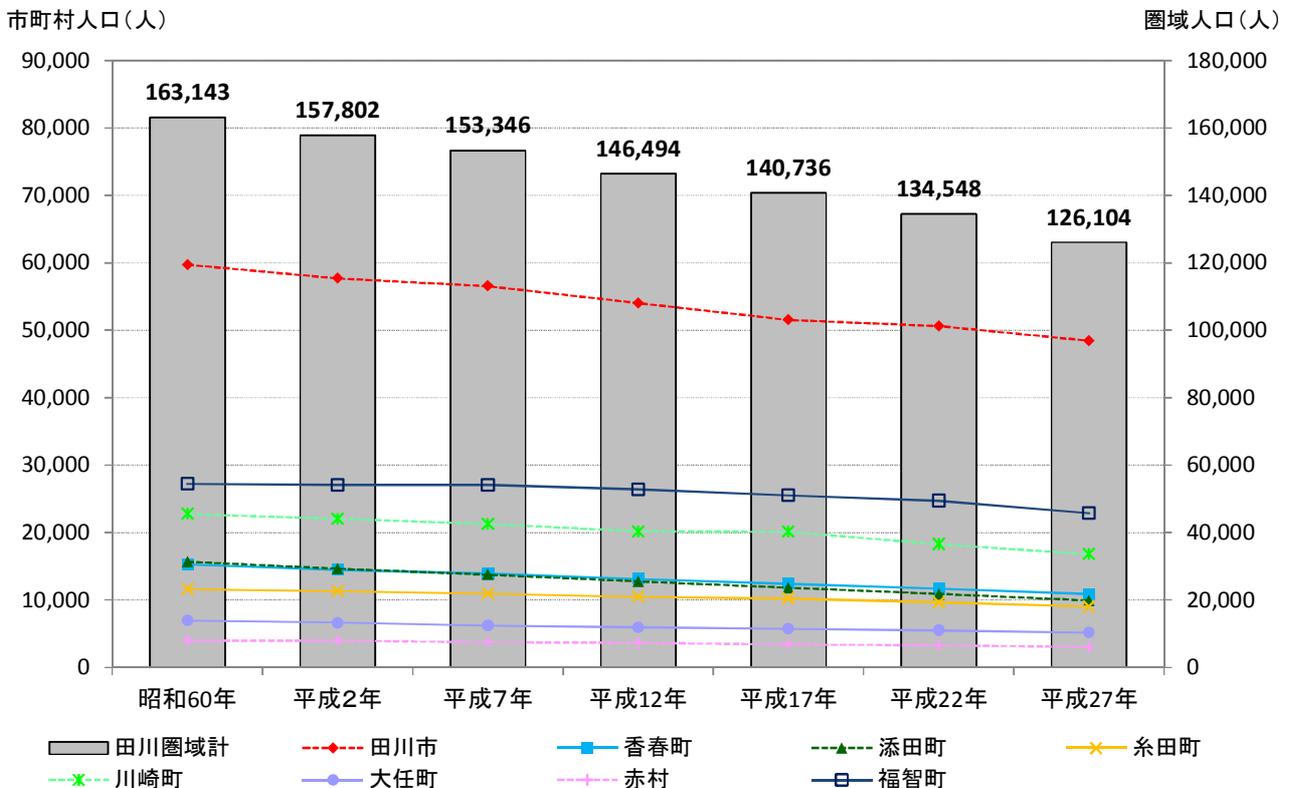
(単位:人)

国勢調査	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
田川市	59,727	57,700	56,547	54,027	51,534	50,605	48,441
香春町	15,245	14,476	13,892	13,104	12,369	11,685	10,861
添田町	15,662	14,632	13,763	12,750	11,810	10,909	9,924
糸田町	11,602	11,308	10,915	10,469	10,216	9,617	9,020
川崎町	22,746	22,046	21,276	20,190	20,115	18,264	16,789
大任町	6,943	6,628	6,196	5,943	5,741	5,503	5,176
赤村	3,987	3,971	3,726	3,636	3,408	3,251	3,022
福智町※	27,231	27,041	27,031	26,375	25,543	24,714	22,871
田川圏域計	163,143	157,802	153,346	146,494	140,736	134,548	126,104

※福智町は平成 18 年に金田町・赤池町・方城町が合併しているため、平成 17 年以前は 3 町の合計値。

(出典:総務省「国勢調査」)

【田川圏域の人口推移のグラフ】



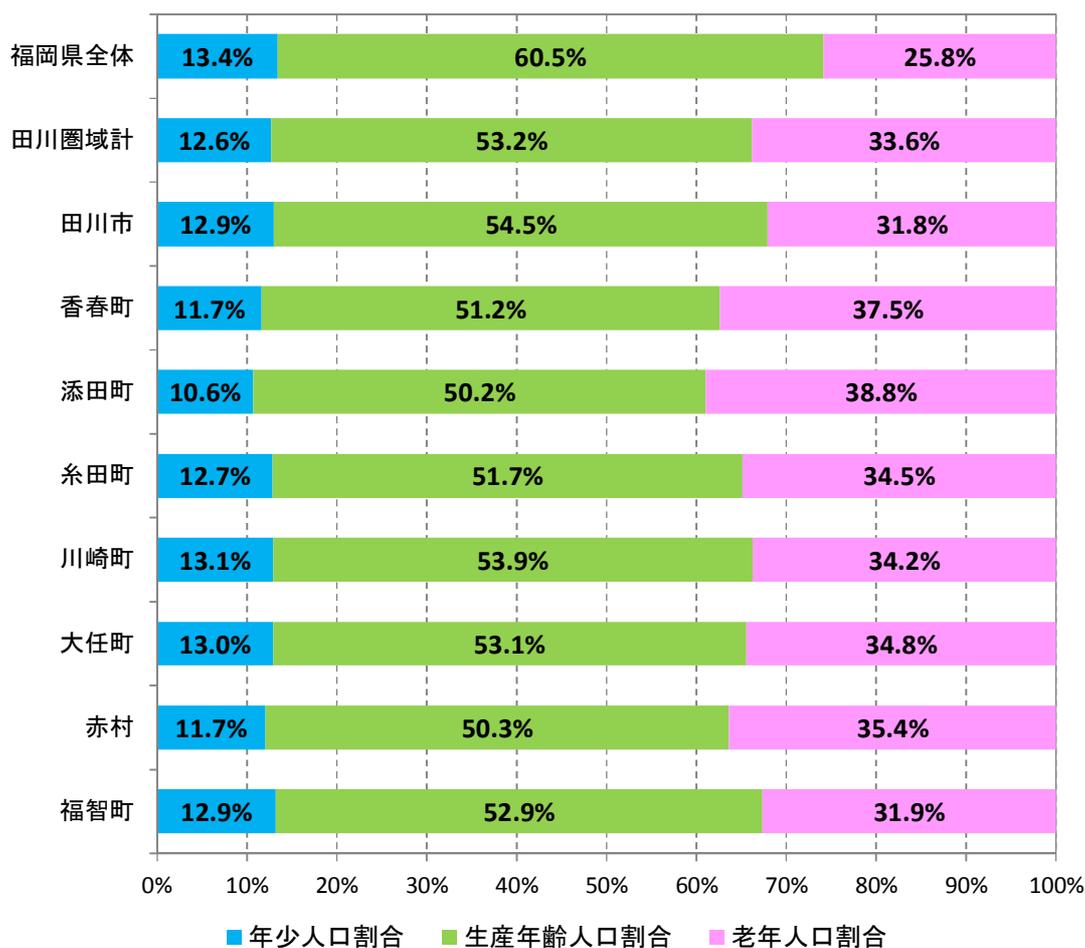
- 平成 27 年国勢調査によると、田川圏域の年齢 3 区分人口割合は、年少人口 12.6%（県全体 13.4%）、高齢化率は 33.6%（県全体 25.8%）と、県全体と比較すると、少子高齢化が進行しています。
- 圏域の市町村別の比較では、高齢化率では田川市 31.8%と比べて、田川郡 7 町村は 34.7%と高く、特に添田町は 40%近くまで達しています。

【田川圏域の年齢 3 区分別人口】

平成27年国勢調査 〔上段:人口数 下段:割合〕	福岡県	筑豊地域	田川圏域計									
			田川市		田川郡計							
					香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町	
人口総数	5,101,556人	416,564人	126,104人	48,441人	77,663人	10,861人	9,924人	9,020人	16,789人	5,176人	3,022人	22,871人
	-	-	100.0%	38.4%	61.6%	8.6%	7.9%	7.2%	13.3%	4.1%	2.4%	18.1%
年少人口 (0~14歳)	676,045人	51,902人	15,961人	6,278人	9,683人	1,256人	1,060人	1,159人	2,166人	668人	364人	3,010人
	13.4%	12.5%	12.6%	12.9%	12.4%	11.7%	10.6%	12.7%	13.1%	13.0%	11.7%	12.9%
生産年齢人口 (15~64歳)	3,057,855人	229,737人	67,365人	26,553人	40,812人	5,515人	5,001人	4,710人	8,941人	2,722人	1,560人	12,363人
	60.5%	55.1%	53.2%	54.5%	52.3%	51.2%	50.2%	51.7%	53.9%	53.1%	50.3%	52.9%
老年人口 (65歳~)	1,304,764人	133,320人	42,530人	15,480人	27,050人	4,044人	3,863人	3,142人	5,663人	1,784人	1,098人	7,456人
	25.8%	32.0%	33.6%	31.8%	34.7%	37.5%	38.8%	34.5%	34.2%	34.8%	35.4%	31.9%

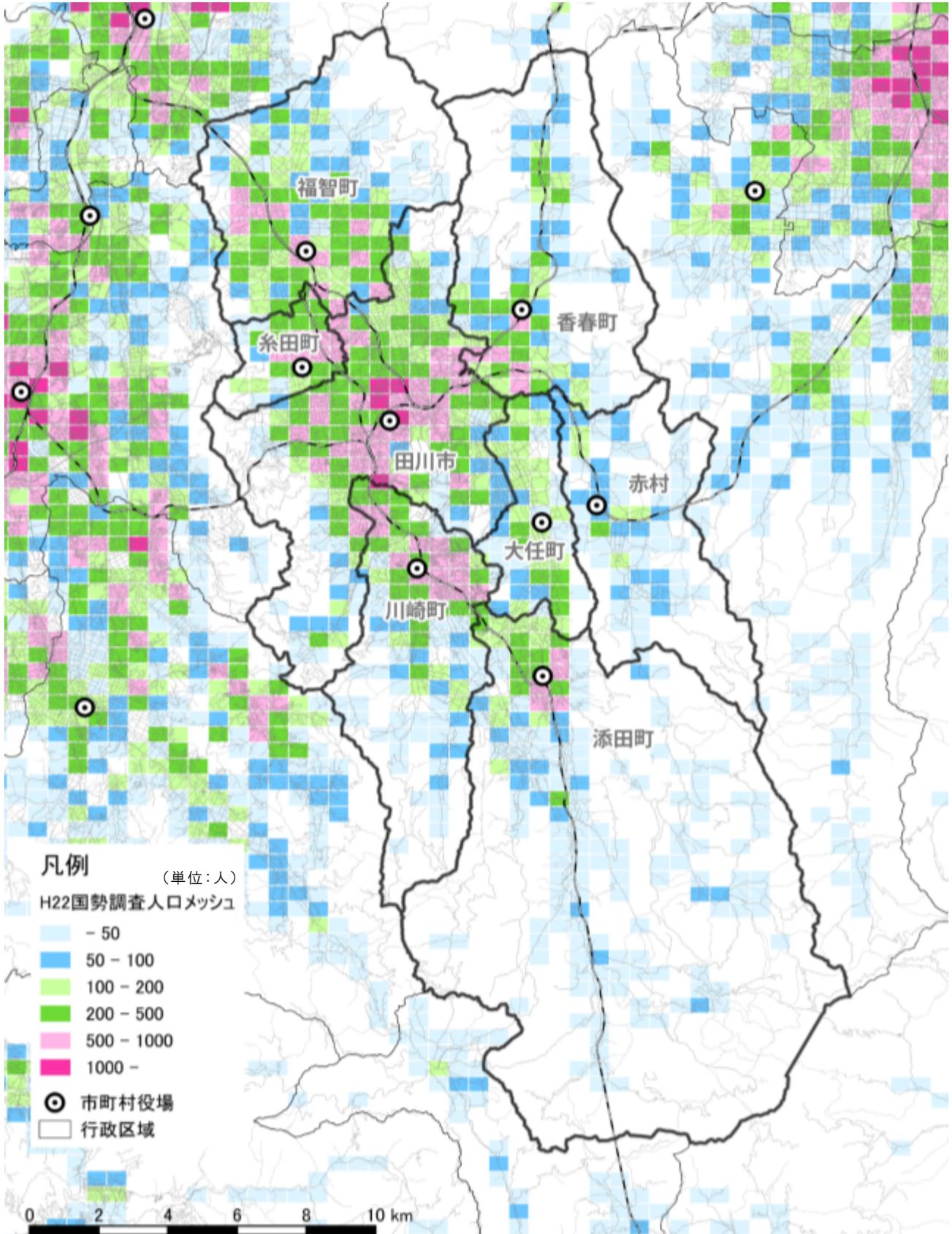
(出典:総務省「平成 27 年国勢調査」)

【田川圏域の年齢 3 区分別人口割合】



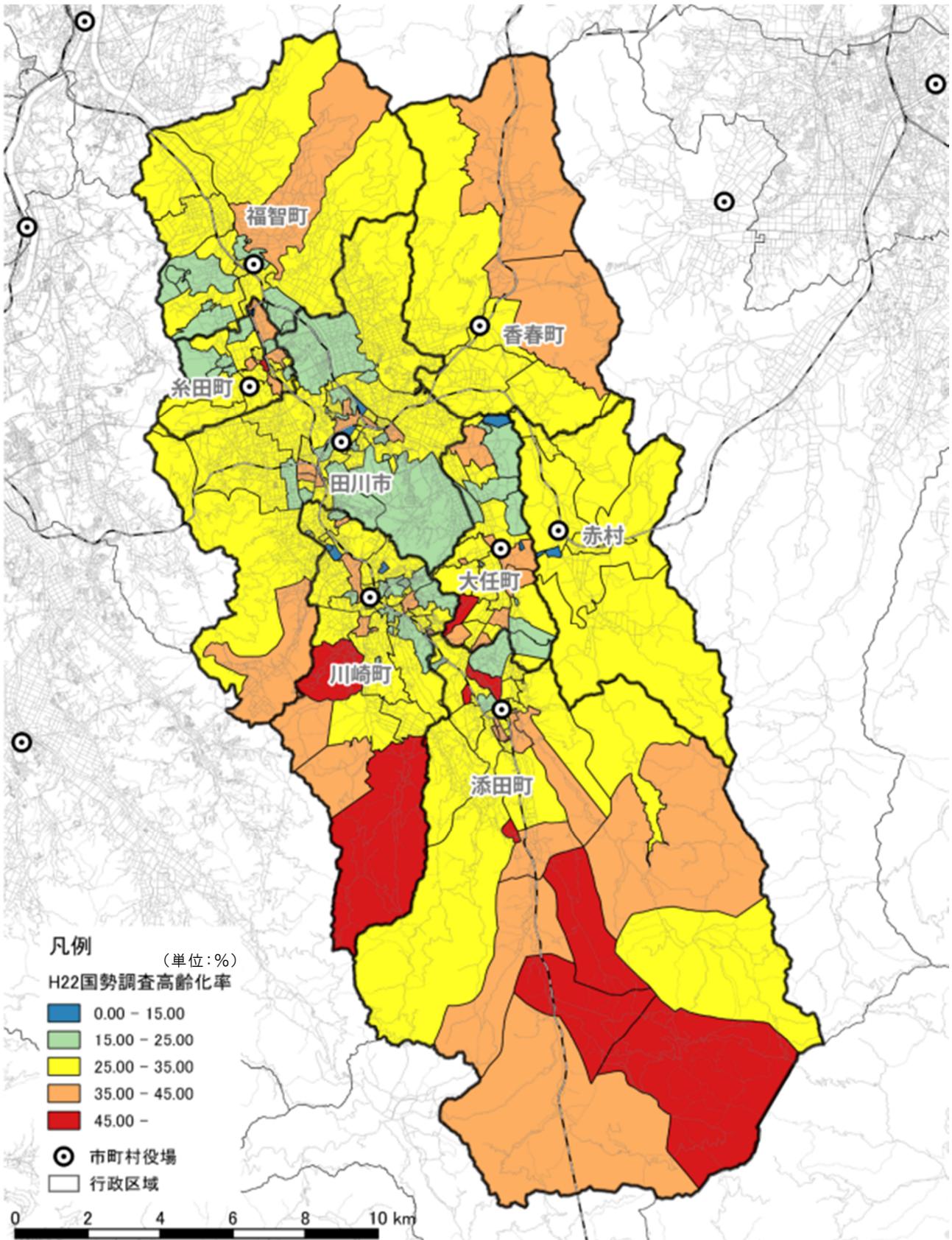
【平成 22 年国勢調査による人口分布（500m メッシュ）】

- 圏域人口は、彦山川等の河川沿い、J R 及び平成筑豊鉄道の駅及び沿線の平野部に集積しています。また、圏域外周の多くが山間地に囲まれ、縁辺部の人口は少なくなっています。
- 田川市は、後藤寺と伊田の二か所を核として人口が集積し、市街地が形成されています。



【平成 22 年国勢調査による高齢化率（小地域）】

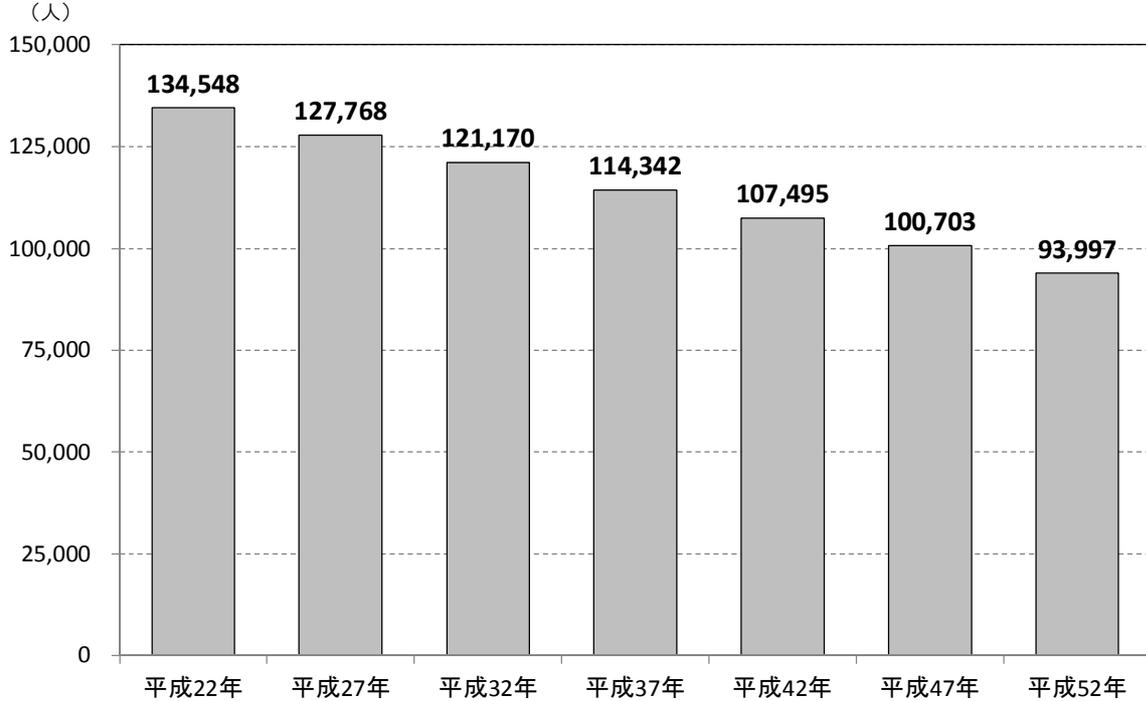
- 圏域の高齢化率は、各市町村の中心部付近で低い傾向にあり、郊外部に向かって高齢化率が高い傾向にあります。



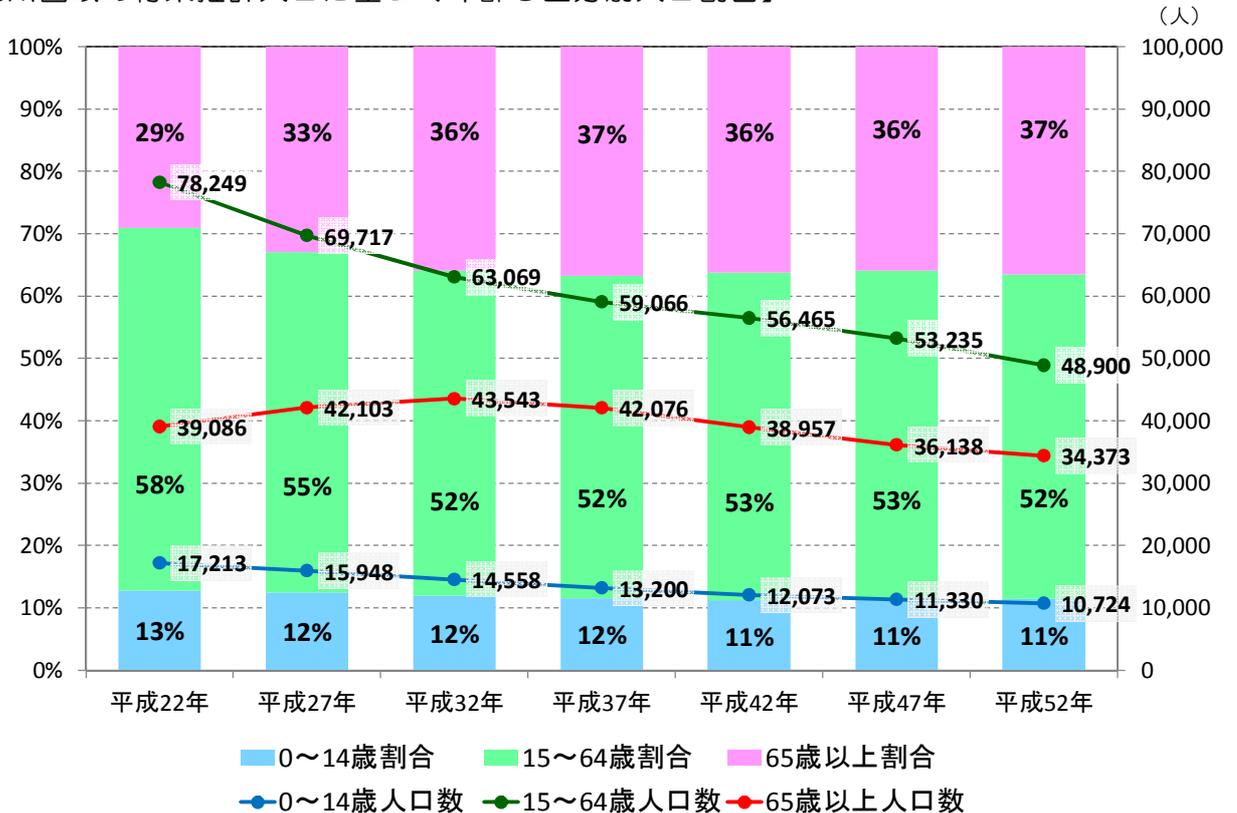
② 将来人口（国立社会保障・人口問題研究所：平成 25 年 3 月推計）

- 将来推計人口によると、圏域人口は、今後も減少することが予想されています。既に 65 歳未満の年少及び生産年齢人口は減少していますが、平成 32 年以降は高齢者数も減少に転じると予想されています。

【田川圏域の将来推計人口】



【田川圏域の将来推計人口に基づく年齢3区分別人口割合】



【市町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所：平成25年3月推計）】

（単位：人）

将来推計人口 （国立社会保障・人口問題研究所） 平成25年3月推計		田川圏域計									
		田川市		田川郡計							
				香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町	
人口総数	2010年(平成22年)	134,548	50,605	83,943	11,685	10,909	9,617	18,264	5,503	3,251	24,714
	2015年(平成27年)	127,768	48,939	78,829	10,908	10,059	9,032	16,716	5,259	3,140	23,715
	2020年(平成32年)	121,170	47,123	74,047	10,172	9,294	8,491	15,435	5,003	2,999	22,653
	2025年(平成37年)	114,342	45,183	69,159	9,408	8,526	7,943	14,153	4,748	2,853	21,528
	2030年(平成42年)	107,495	43,207	64,288	8,641	7,793	7,410	12,892	4,480	2,700	20,372
	2035年(平成47年)	100,703	41,257	59,446	7,884	7,094	6,877	11,681	4,208	2,525	19,177
	2040年(平成52年)	93,997	39,296	54,701	7,165	6,428	6,364	10,536	3,926	2,354	17,928
0～14歳	2010年(平成22年)	17,213	6,526	10,687	1,368	1,214	1,245	2,486	686	386	3,302
	2015年(平成27年)	15,948	6,298	9,650	1,257	1,067	1,153	2,141	623	371	3,038
	2020年(平成32年)	14,558	5,954	8,604	1,108	918	1,078	1,848	578	337	2,737
	2025年(平成37年)	13,200	5,535	7,665	974	805	969	1,616	534	303	2,464
	2030年(平成42年)	12,073	5,197	6,876	877	717	885	1,401	498	275	2,223
	2035年(平成47年)	11,330	5,027	6,303	806	656	828	1,243	468	253	2,049
	2040年(平成52年)	10,724	4,880	5,844	745	606	782	1,124	439	236	1,912
15～64歳	2010年(平成22年)	78,249	29,902	48,347	6,602	6,016	5,536	10,534	3,218	1,889	14,552
	2015年(平成27年)	69,717	27,332	42,385	5,649	5,180	4,849	9,140	2,875	1,654	13,038
	2020年(平成32年)	63,069	25,469	37,600	4,950	4,502	4,283	8,041	2,550	1,456	11,818
	2025年(平成37年)	59,066	24,460	34,606	4,487	4,056	3,987	7,266	2,405	1,345	11,060
	2030年(平成42年)	56,465	23,847	32,618	4,148	3,781	3,809	6,760	2,291	1,301	10,528
	2035年(平成47年)	53,235	22,903	30,332	3,833	3,476	3,547	6,168	2,185	1,234	9,889
	2040年(平成52年)	48,900	21,536	27,364	3,441	3,097	3,236	5,390	2,044	1,141	9,015
65歳以上	2010年(平成22年)	39,086	14,177	24,909	3,715	3,679	2,836	5,244	1,599	976	6,860
	2015年(平成27年)	42,103	15,309	26,794	4,002	3,812	3,030	5,435	1,761	1,115	7,639
	2020年(平成32年)	43,543	15,700	27,843	4,114	3,874	3,130	5,546	1,875	1,206	8,098
	2025年(平成37年)	42,076	15,188	26,888	3,947	3,665	2,987	5,271	1,809	1,205	8,004
	2030年(平成42年)	38,957	14,163	24,794	3,616	3,295	2,716	4,731	1,691	1,124	7,621
	2035年(平成47年)	36,138	13,327	22,811	3,245	2,962	2,502	4,270	1,555	1,038	7,239
	2040年(平成52年)	34,373	12,880	21,493	2,979	2,725	2,346	4,022	1,443	977	7,001
75歳以上	2010年(平成22年)	21,156	7,531	13,625	1,974	2,069	1,565	2,731	868	560	3,858
	2015年(平成27年)	21,820	7,806	14,014	2,063	2,085	1,570	2,707	938	602	4,049
	2020年(平成32年)	22,254	7,972	14,282	2,149	2,017	1,615	2,752	941	637	4,171
	2025年(平成37年)	24,717	8,892	15,825	2,364	2,167	1,766	2,982	1,065	732	4,749
	2030年(平成42年)	25,651	9,077	16,574	2,422	2,226	1,841	3,050	1,144	800	5,091
	2035年(平成47年)	24,221	8,573	15,648	2,253	2,069	1,712	2,816	1,072	779	4,947
	2040年(平成52年)	21,483	7,684	13,799	1,976	1,776	1,482	2,395	958	689	4,523

人口数のピーク

【市町村別将来推計人口割合（国立社会保障・人口問題研究所：平成25年3月推計）】

（単位：%）

将来推計人口 （国立社会保障・人口問題研究所） 平成25年3月推計		田川圏域計										
		田川市		田川郡計								
				香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町		
人口総数	2010年(平成22年)	100.0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	2015年(平成27年)	95.0	96.7	93.9	93.4	92.2	93.9	91.5	95.6	96.6	96.0	
	2020年(平成32年)	90.1	93.1	88.2	87.1	85.2	88.3	84.5	90.9	92.2	91.7	
	2025年(平成37年)	85.0	89.3	82.4	80.5	78.2	82.6	77.5	86.3	87.8	87.1	
	2030年(平成42年)	79.9	85.4	76.6	73.9	71.4	77.1	70.6	81.4	83.1	82.4	
	2035年(平成47年)	74.8	81.5	70.8	67.5	65.0	71.5	64.0	76.5	77.7	77.6	
	2040年(平成52年)	69.9	77.7	65.2	61.3	58.9	66.2	57.7	71.3	72.4	72.5	
0～14歳	2010年(平成22年)	12.8	12.9	12.7	11.7	11.1	12.9	13.6	12.5	11.9	13.4	
	2015年(平成27年)	12.5	12.9	12.2	11.5	10.6	12.8	12.8	11.8	11.8	12.8	
	2020年(平成32年)	12.0	12.6	11.6	10.9	9.9	12.7	12.0	11.6	11.2	12.1	
	2025年(平成37年)	11.5	12.3	11.1	10.4	9.4	12.2	11.4	11.2	10.6	11.4	
	2030年(平成42年)	11.2	12.0	10.7	10.1	9.2	11.9	10.9	11.1	10.2	10.9	
	2035年(平成47年)	11.3	12.2	10.6	10.2	9.2	12.0	10.6	11.1	10.0	10.7	
	2040年(平成52年)	11.4	12.4	10.7	10.4	9.4	12.3	10.7	11.2	10.0	10.7	
15～64歳	2010年(平成22年)	58.2	59.1	57.6	56.5	55.1	57.6	57.7	58.5	58.1	58.9	
	2015年(平成27年)	54.6	55.8	53.8	51.8	51.5	53.7	54.7	54.7	52.7	55.0	
	2020年(平成32年)	52.1	54.0	50.8	48.7	48.4	50.4	52.1	51.0	48.5	52.2	
	2025年(平成37年)	51.7	54.1	50.0	47.7	47.6	50.2	51.3	50.7	47.1	51.4	
	2030年(平成42年)	52.5	55.2	50.7	48.0	48.5	51.4	52.4	51.1	48.2	51.7	
	2035年(平成47年)	52.9	55.5	51.0	48.6	49.0	51.6	52.8	51.9	48.9	51.6	
	2040年(平成52年)	52.0	54.8	50.0	48.0	48.2	50.8	51.2	52.1	48.5	50.3	
65歳以上	2010年(平成22年)	29.0	28.0	29.7	31.8	33.7	29.5	28.7	29.1	30.0	27.8	
	2015年(平成27年)	33.0	31.3	34.0	36.7	37.9	33.5	32.5	33.5	35.5	32.2	
	2020年(平成32年)	35.9	33.3	37.6	40.4	41.7	36.9	35.9	37.5	40.2	35.7	
	2025年(平成37年)	36.8	33.6	38.9	42.0	43.0	37.6	37.2	38.1	42.2	37.2	
	2030年(平成42年)	36.2	32.8	38.6	41.8	42.3	36.7	36.7	37.7	41.6	37.4	
	2035年(平成47年)	35.9	32.3	38.4	41.2	41.8	36.4	36.6	37.0	41.1	37.7	
	2040年(平成52年)	36.6	32.8	39.3	41.6	42.4	36.9	38.2	36.8	41.5	39.1	
75歳以上	2010年(平成22年)	15.7	14.9	16.2	16.9	19.0	16.3	15.0	15.8	17.2	15.6	
	2015年(平成27年)	17.1	16.0	17.8	18.9	20.7	17.4	16.2	17.8	19.2	17.1	
	2020年(平成32年)	18.4	16.9	19.3	21.1	21.7	19.0	17.8	18.8	21.2	18.4	
	2025年(平成37年)	21.6	19.7	22.9	25.1	25.4	22.2	21.1	22.4	25.7	22.1	
	2030年(平成42年)	23.9	21.0	25.8	28.0	28.6	24.8	23.7	25.5	29.6	25.0	
	2035年(平成47年)	24.1	20.8	26.3	28.6	29.2	24.9	24.1	25.5	30.9	25.8	
	2040年(平成52年)	22.9	19.6	25.2	27.6	27.6	23.3	22.7	24.4	29.3	25.2	

人口割合のピーク

③ 昼夜間人口

- 平成12年から平成22年までの国勢調査によると、圏域のうち、田川市のみ昼間人口が夜間人口を上回っている状況で、その他町村は夜間人口が昼間人口を上回っています。
- 近年での昼夜間人口比率に大きな変動はありません。

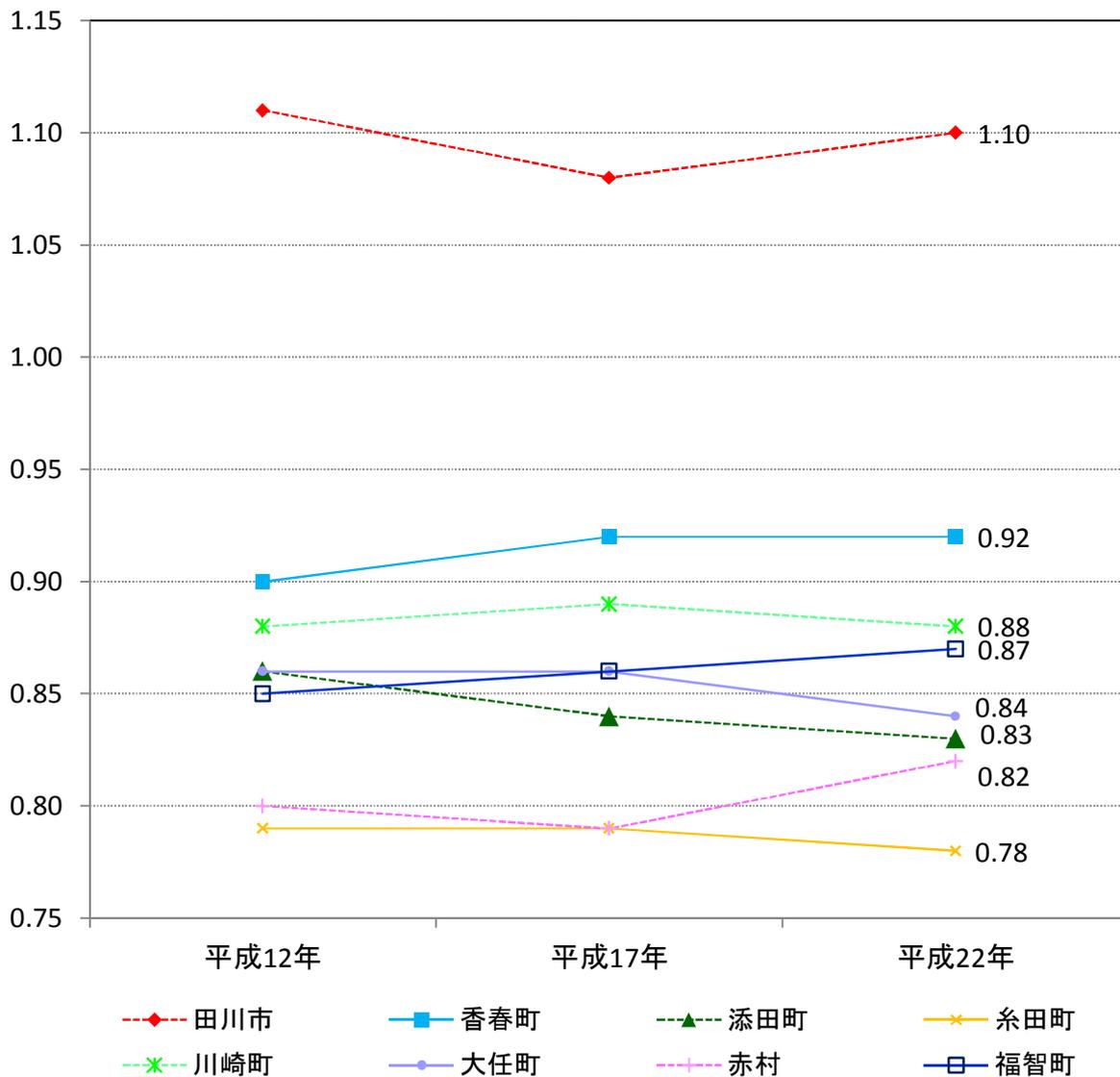
【田川圏域の昼夜間人口の推移】

(単位:人)

国勢調査	平成12年			平成17年			平成22年		
	夜間人口	昼間人口	昼夜間率	夜間人口	昼間人口	昼夜間率	夜間人口	昼間人口	昼夜間率
田川市	54,027	60,156	1.11	51,534	55,762	1.08	50,605	55,716	1.10
香春町	13,104	11,813	0.90	12,369	11,366	0.92	11,685	10,724	0.92
添田町	12,750	10,909	0.86	11,810	9,934	0.84	10,909	9,003	0.83
糸田町	10,469	8,270	0.79	10,216	8,069	0.79	9,617	7,470	0.78
川崎町	20,190	17,726	0.88	20,115	17,999	0.89	18,264	16,057	0.88
大任町	5,943	5,088	0.86	5,741	4,920	0.86	5,503	4,641	0.84
赤村	3,636	2,924	0.80	3,408	2,703	0.79	3,251	2,671	0.82
福智町	26,375	22,289	0.85	25,543	21,971	0.86	24,714	21,438	0.87

(出典:総務省「国勢調査」)

【田川圏域の昼夜間人口比率の推移】



④ 通勤・通学人口

- 平成 22 年国勢調査によると、圏域の 15 歳以上の通勤・通学状況は、全体数 5.6 万人のうち約 4 割が田川市内への通勤・通学者となっています。
- 通勤者では、全体数 5 万人のうち約 4 割弱が田川市への通勤となっており、通学者では約半数の学生が田川市へ通っている状況です。

【市町村別の通勤・通学状況】

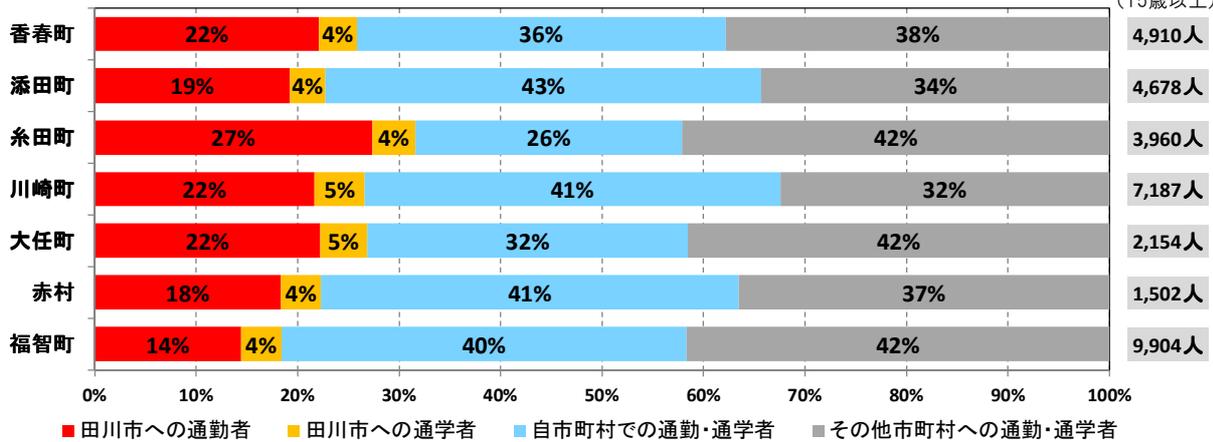
(単位:人)

平成22年度 国勢調査		田川圏域計									
		田川市	田川郡計								
			香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町		
合計	通勤・通学者数(15歳以上)	56,508	22,213	34,295	4,910	4,678	3,960	7,187	2,154	1,502	9,904
	自市町村での通勤・通学者数	26,780	13,750	13,030	1,786	2,010	1,040	2,943	680	618	3,953
	田川市への通勤・通学者数	21,985	13,750	8,235	1,268	1,064	1,253	1,912	579	335	1,824
	田川市が占める割合	38.9%	61.9%	24.0%	25.8%	22.7%	31.6%	26.6%	26.9%	22.3%	18.4%
田川圏域に 常住する 通勤者 (15歳以上)	通勤者数(15歳以上)	50,367	19,613	30,754	4,413	4,257	3,575	6,367	1,914	1,379	8,849
	自市町村での通勤者数	24,612	12,128	12,484	1,645	1,961	1,006	2,798	655	604	3,815
	田川市への通勤者数	18,942	12,128	6,814	1,087	900	1,084	1,558	479	276	1,430
	田川市が占める割合	37.6%	61.8%	22.2%	24.6%	21.1%	30.3%	24.5%	25.0%	20.0%	16.2%
田川圏域に 常住する 通学者 (15歳以上)	通学者数(15歳以上)	6,141	2,600	3,541	497	421	385	820	240	123	1,055
	自市町村での通学者数	2,168	1,622	546	141	49	34	145	25	14	138
	田川市への通学者数	3,043	1,622	1,421	181	164	169	354	100	59	394
	田川市が占める割合	49.6%	62.4%	40.1%	36.4%	39.0%	43.9%	43.2%	41.7%	48.0%	37.3%

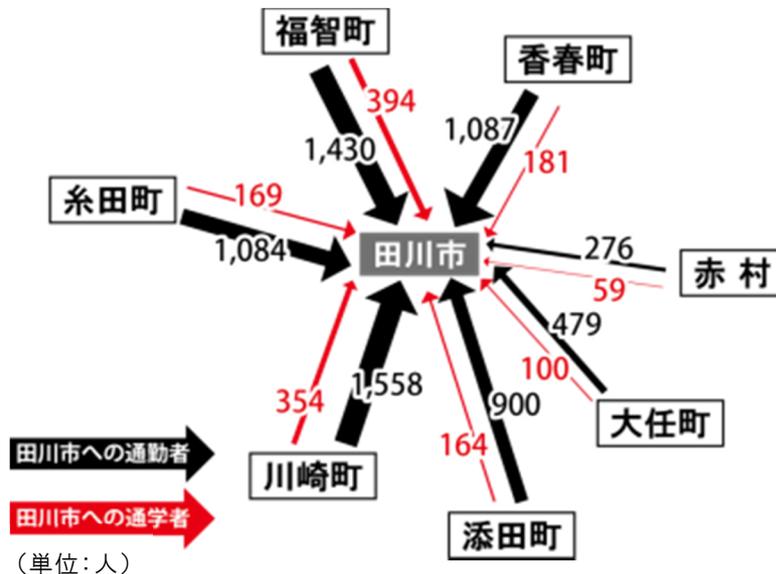
(出典:総務省「平成 22 年国勢調査」)

【市町村別の通勤・通学先】

通勤・通学者数
(15歳以上)



【田川郡から田川市への通勤・通学者の状況】



(3) 産業

- 平成 22 年国勢調査によると、圏域の産業分類別の就業者の割合は、第 3 次産業が最も高くなっています。第 1 次産業は 1%~3% 台の市町村が多いですが、添田町、赤村では第 1 次産業の割合が高く、その分第 2 次産業の割合が比較的低くなっています。

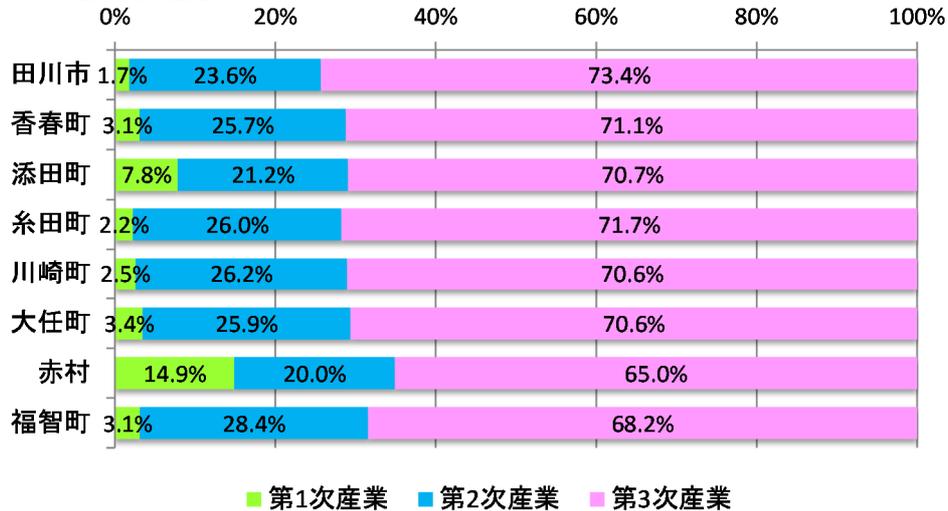
【産業別就業者数】

(単位:人)

平成 22 年国勢調査	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	就業者数計
田川市	342	4,638	14,400	19,613
香春町	135	1,133	3,138	4,413
添田町	332	901	3,010	4,257
糸田町	80	928	2,564	3,575
川崎町	162	1,669	4,493	6,367
大任町	66	496	1,352	1,914
赤村	205	276	897	1,379
福智町	273	2,510	6,034	8,849

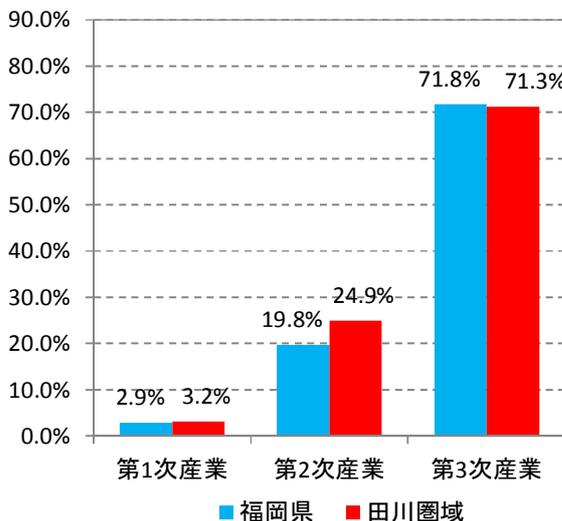
(出典:総務省「平成 22 年国勢調査」)

【産業別就業者の割合】

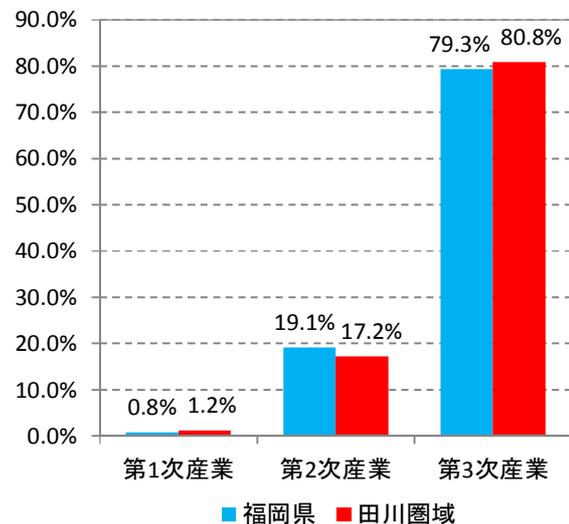


- 福岡県平均と比較すると、第 2 次産業の就業者割合が高い一方で、総生産額割合は低くなっており、第 2 次産業の生産性がやや低くなっています。

【産業三部門別の就業者割合】



【産業三部門別の総生産額割合】



(4) 主要施設

- 医療施設のうち、病院については全 16 施設中 7 施設が田川市に立地しています。香春町、大任町、赤村には病院がない状況となっています。その他診療所や歯科診療所は各市町村に立地している状況です。

【田川圏域における病院等の状況】

平成26年度 福岡県保健統計年報		田川圏域計									
		田川市	田川郡計								
			香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町		
病院	施設数	16	7	9	0	1	1	4	0	0	3
	田川圏域での割合	100.0%	43.8%	56.3%	0.0%	6.3%	6.3%	25.0%	0.0%	0.0%	18.8%
	病床数	3,266	2,258	1,008	0	166	99	250	0	0	493
	田川圏域での割合	100.0%	69.1%	30.9%	0.0%	5.1%	3.0%	7.7%	0.0%	0.0%	15.1%
一般診療所	施設数	110	54	56	4	12	8	10	6	4	12
	田川圏域での割合	100.0%	49.1%	50.9%	3.6%	10.9%	7.3%	9.1%	5.5%	3.6%	10.9%
	病床数	318	129	189	19	74	0	19	19	0	58
	田川圏域での割合	100.0%	40.6%	59.4%	6.0%	23.3%	0.0%	6.0%	6.0%	0.0%	18.2%
歯科診療所	施設数	64	26	38	5	7	4	11	2	1	8
	田川圏域での割合	100.0%	40.6%	59.4%	7.8%	10.9%	6.3%	17.2%	3.1%	1.6%	12.5%

(出典：福岡県「平成 26 年度保健統計年報」)

- 教育施設では、高等学校全 5 校中 4 校が田川市に立地しています。小学校と中学校はそれぞれの市町村で一校以上は立地していますが児童数にバラつきがみられます。

【田川圏域における幼稚園等の教育機関の状況】

平成28年度 学校基本調査		田川圏域計									
		田川市	田川郡計								
			香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町		
幼稚園	園数	6	2	4	1	1	0	1	0	0	1
	園児数(人)	440	194	246	16	38	0	57	0	0	135
	田川圏域での割合	100.0%	44.1%	55.9%	3.6%	8.6%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%	30.7%
	教員数(人)	49	24	25	3	5	0	7	0	0	10
小学校	学校数	32	9	23	4	5	1	4	2	2	5
	児童数(人)	6,675	2,633	4,042	488	476	475	847	269	174	1,313
	田川圏域での割合	100.0%	39.4%	60.6%	7.3%	7.1%	7.1%	12.7%	4.0%	2.6%	19.7%
	教員数(人)	563	193	370	53	63	33	72	26	19	104
中学校	学校数	20	8	12	2	1	1	3	1	1	3
	生徒数(人)	3,218	1,153	2,065	266	218	217	458	133	83	690
	田川圏域での割合	100.0%	35.8%	64.2%	8.3%	6.8%	6.7%	14.2%	4.1%	2.6%	21.4%
	教員数(人)	390	147	243	35	25	21	55	17	16	74
高等学校	学校数	5	4	1	1	0	0	0	0	0	0
	生徒数(人)	2,423	1,805	618	618	0	0	0	0	0	0
	田川圏域での割合	100.0%	74.5%	25.5%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	教員数(人)	226	181	45	45	0	0	0	0	0	0

(出典：文部科学省「平成 28 年度学校基本調査」)

- 観光入込客数は、圏域全体で年間約 450 万人が訪れています。そのうち、日帰りでは大任町、宿泊では添田町が多い状況です。県外・県内の内訳では県内客が約 9 割で大部分を占めています。観光消費額は大任町が圧倒的に多い状況が見られます。

【田川圏域における観光入込客数等の状況】

平成26年 福岡県観光入込客推計調査	田川圏域計									
	田川市	田川郡計								
		香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町		
観光入込客数(千人)	4,546	574	3,972	349	878	317	301	1,227	321	579
田川圏域での割合	100.0%	12.6%	87.4%	7.7%	19.3%	7.0%	6.6%	27.0%	7.1%	12.7%
日帰客(千人)	4,349	537	3,812	349	749	317	293	1,226	304	574
田川圏域での割合	100.0%	12.3%	87.7%	8.0%	17.2%	7.3%	6.7%	28.2%	7.0%	13.2%
宿泊客(千人)	197	37	160	0	129	0	8	1	17	5
田川圏域での割合	100.0%	18.8%	81.2%	0.0%	65.5%	0.0%	4.1%	0.5%	8.6%	2.5%
県外客(千人)	601	42	559	56	131	42	30	247	42	11
田川圏域での割合	100.0%	7.0%	93.0%	9.3%	21.8%	7.0%	5.0%	41.1%	7.0%	1.8%
県内客(千人)	3,945	532	3,413	293	747	275	271	980	279	568
田川圏域での割合	100.0%	13.5%	86.5%	7.4%	18.9%	7.0%	6.9%	24.8%	7.1%	14.4%
観光消費額(百万円)	3,271	444	2,827	345	非公表	263	582	1,290	非公表	347
田川圏域での割合	100.0%	13.6%	86.4%	10.5%	-	8.0%	17.8%	39.4%	-	10.6%

(出典:福岡県「平成 26 年観光入込客推計調査」)

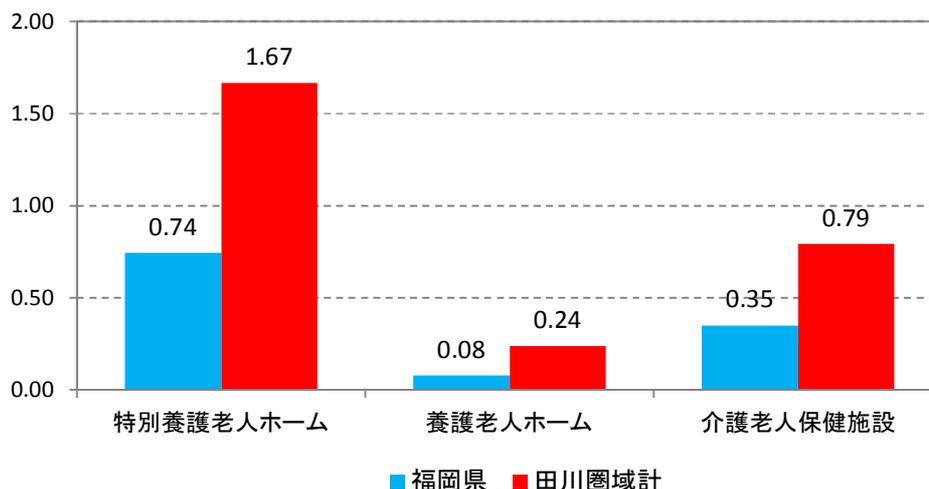
- 圏域では、田川市や福智町を中心に特別養護老人ホーム等の福祉施設が立地しており、福岡県平均と比較して、人口あたりの施設数が多くなっています。

【田川圏域における特別養護老人ホーム等の状況】

福岡県市町村要覧 平成28年版	福岡県	田川圏域計										
		田川市	田川郡計									
			香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町			
平成27年国勢調査 人口総数	人口数(人)	5,101,556	126,104	48,441	77,663	10,861	9,924	9,020	16,789	5,176	3,022	22,871
	田川圏域での割合	-	100.0%	38.4%	61.6%	8.6%	7.9%	7.2%	13.3%	4.1%	2.4%	18.1%
特別養護老人ホーム	施設数	380	21	4	17	1	2	3	3	2	2	4
	田川圏域での割合	-	100.0%	19.0%	81.0%	4.8%	9.5%	14.3%	14.3%	9.5%	9.5%	19.0%
養護老人ホーム	施設数	40	3	1	2	0	1	0	1	0	0	0
	田川圏域での割合	-	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	施設数	179	10	3	7	0	1	2	1	1	0	2
	田川圏域での割合	-	100.0%	30.0%	70.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%
人口1万人あたり 施設数	特別養護老人ホーム	0.74	1.67	0.83	2.19	0.92	2.02	3.33	1.79	3.86	6.62	1.75
	養護老人ホーム	0.08	0.24	0.21	0.26	0.00	1.01	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00
	介護老人保健施設	0.35	0.79	0.62	0.90	0.00	1.01	2.22	0.60	1.93	0.00	0.87

(出典:福岡県「市町村要覧平成 28 年版」)

【人口1万人あたりの施設数】



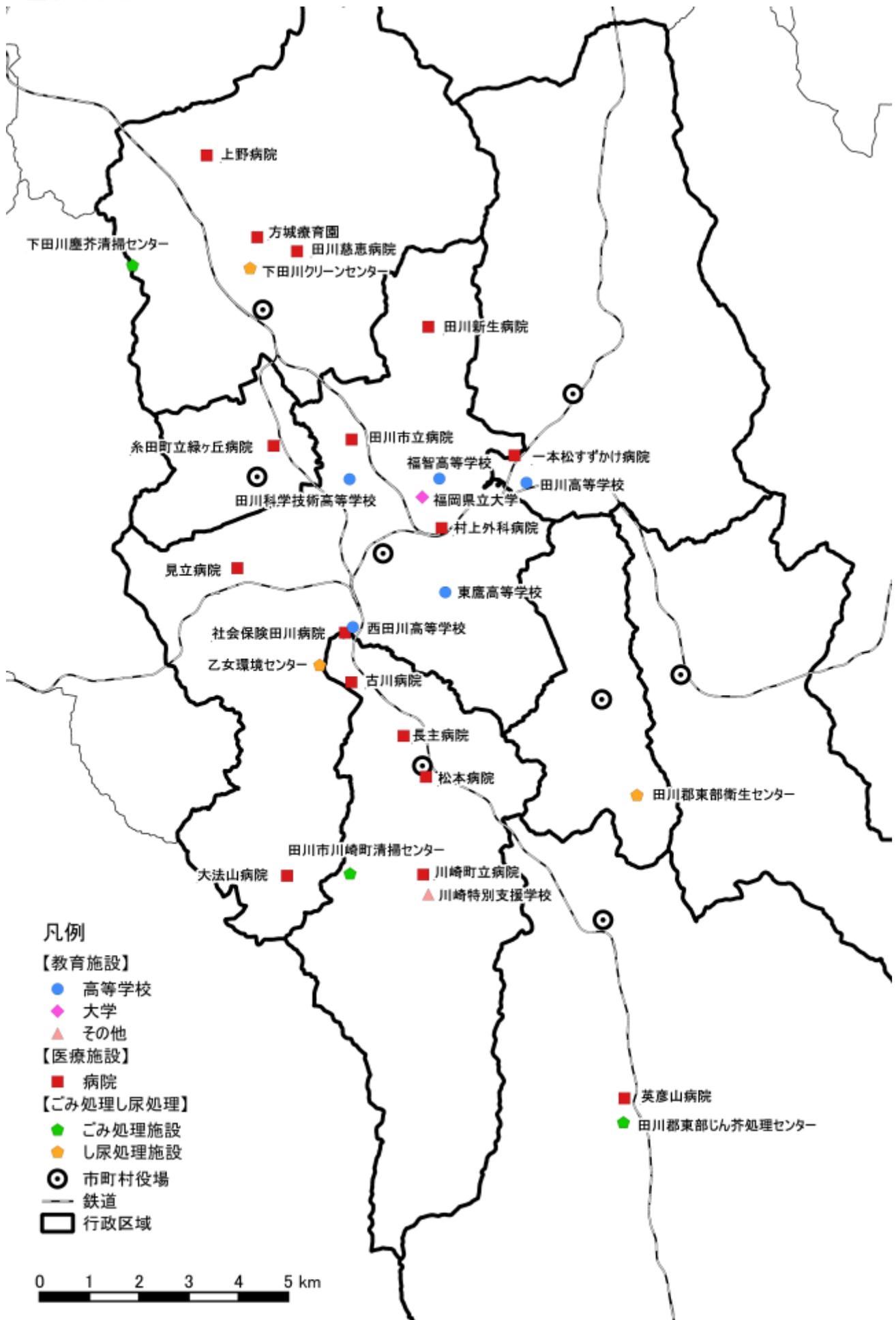
【田川圏域における可燃ごみ処理施設の状況】

設置者	施設名	竣工年月	能力 (t/日)	経過年数 (H29.3月時点)
田川地区清掃施設組合 (田川市・川崎町)	田川市川崎町清掃センター	S62.3	45×2 炉	30 年
田川郡東部環境衛生施設組合 (大任町、香春町、赤村、添田町)	田川郡東部じん芥処理センター	H7.12	22×2 炉	21 年
下田川清掃施設組合 (糸田町・福智町)	下田川塵芥清掃センター	S50.3	20×2 炉	42 年

【田川圏域におけるし尿処理施設の状況】

設置者	施設名	竣工年月	能力 (kl/日)	経過年数 (H29.3月時点)
田川地区清掃施設組合 (田川市・川崎町)	乙女環境センター	H2.3	225	27 年
田川郡東部環境衛生施設組合 (大任町、香春町、赤村、添田町)	田川郡東部衛生センター	S60.3	70	32 年
下田川清掃施設組合 (糸田町・福智町)	下田川クリーンセンター	H3.3	93	26 年

【主要施設分布】



(5) 公共交通

① 路線バス（西鉄バス）

- 圏域と周辺都市間の路線バスは、西鉄バス筑豊が福岡方面や北九州方面へ特急・急行・快速バスを運行しています。また、圏域内は近年路線バスを廃止している影響で現在は2路線のみの運行となっています。平成28年9月には長年利用されてきた後藤寺バスセンターが建物の老朽化によって、施設及び窓口営業、待合室等が閉鎖されました。

【田川圏域における路線バス（西鉄バス）の運行状況】

区分	路線名	運行本数(往復)
都市間路線	特急 福岡～田川 [天神～西鉄後藤寺(福岡県立大)]	平日 58、土休日 51
	急行 福岡～田川 [博多駅～福岡空港～西鉄後藤寺]	平日 12、土休日 12
	快速 小倉～田川 [西鉄後藤寺～小倉駅～砂津]	平日 17、土休日 17
圏域内路線	金田・方城線(系統番号 1、3) [真岡～後藤寺～金田平原団地]	平日 10、土曜 8、日祝 5
	金田・方城線(系統番号 22、23) [西鉄後藤寺～金田駅]	平日 12、土曜 10、日祝 7
	添田線(系統番号 10) [西鉄後藤寺～めんべい添田町工場]	平日 16、土休日 14

② コミュニティバス・福祉バス等

- 圏域の全ての市町村では、西鉄バスの撤退や交通空白地解消、交通弱者への移動手段確保を目的として、コミュニティバスや福祉バスを運行しています。
- ほぼ全ての路線が各市町村内で完結しており、近隣自治体への乗り入れなどはほとんど行っていない状況です。

【田川圏域におけるコミュニティバス・福祉バス等の運行状況】

市町村	事業者	路線名	往路本数(便)	復路本数(便)	運賃	土日祝運行
田川市	田川構内自動車	坂谷・田川病院線	午前4、午後4	午前2、午後4	200円	運行なし
		大浦・弓削田線	午前4、午後4	午前3、午後4		
		伊加利・松原線	午前4、午後4	午前3、午後4		
		鎮西・金川線	午前3、午後3	午前3、午後3		
		施設循環線	午前3、午後2	午前2、午後3		
		白鳥工業団地線	午前1、午後1	午前2、午後2		
香春町	福祉課	1号車	循環(午前1、午後1)		無料	運行なし
		2号車	循環(午前1、午後1)		無料	運行なし
	太陽交通	香春線 ※行橋駅接続	午前3、午後3	午前3、午後3	距離制	午前3、午後3
添田町	まちづくり課	中元寺線	月水金・循環(午前3、午後2)		10km内:200円 10km超:300円	運行なし
			火木・循環(午前1、午後1)			運行なし
		彦山線	午前3、午後2	午前3、午後3		午前2往復、午後2往復
		津野線	月木・循環(午前2、午後2)			運行なし
火金・循環(午前3、午後1)			運行なし			
糸田町	糸田町 社会福祉協議会	Aコース	循環(午前3、午後2)		無料	午前3、日祝運休
		Bコース	循環(午前3、午後3)			午前3、日祝運休
		Cコース	循環(午前3、午後2)			午前3、日祝運休
		Dコース	循環(午前2)			午前2、日祝運休
川崎町	防災管財課	安宅コース	循環(午前3、午後2)		100円	午前1、午後1
		木城・荒平コース	循環(午前1、午後2)			午後2
		上真崎・永井コース	循環(午前1、午後2)			午後2
		池尻・田原コース	循環(午前2、午後2)			午前1、午後1
		三井・大峰コース	循環(午前3、午後2)			午前2、午後2
大任町	大任町 社会福祉協議会	花としじみの里線 ※伊田駅接続	午前7、午後7	午前7、午後7	無料	午前7、午後7
		レインボー線(大行事) ※添田駅接続	循環(午前2、午後1)			運行なし
		レインボー線(今任原) ※添田駅接続	循環(午前2、午後1)			運行なし
赤村	住民課	赤村福祉バス	月水金・循環(午前1、午後1)		無料	日祝運休
			火木土・循環(午前1、午後1)			日祝運休
福智町	福智町 社会福祉協議会	弁城コース	循環(午前3、午後3)		無料	午前3、午後3
		伊方・上金田コース	循環(午前3、午後3)			午前3、午後3
		神崎・赤池コース	循環(午前3、午後3)			午前3、午後3
		上野・市場コース	循環(午前3、午後3)			循環(午前2.5、午後3)
		循環線コース	循環(午前3、午後3)			循環(午前3、午後3)

③ 鉄道

- 圏域内では平成筑豊鉄道3路線、JR2路線が運行しています。

【平成筑豊鉄道の運行状況】

- 営業線名：伊田線：直方～田川伊田（16.1km）15 駅、糸田線：金田～田川後藤寺（6.8km）5 駅
田川線：行橋～田川伊田（26.3km）15 駅 計（49.2km）35 駅
- 旅客運賃：普通旅客運賃（対キロ区間制） 初乗り 220 円

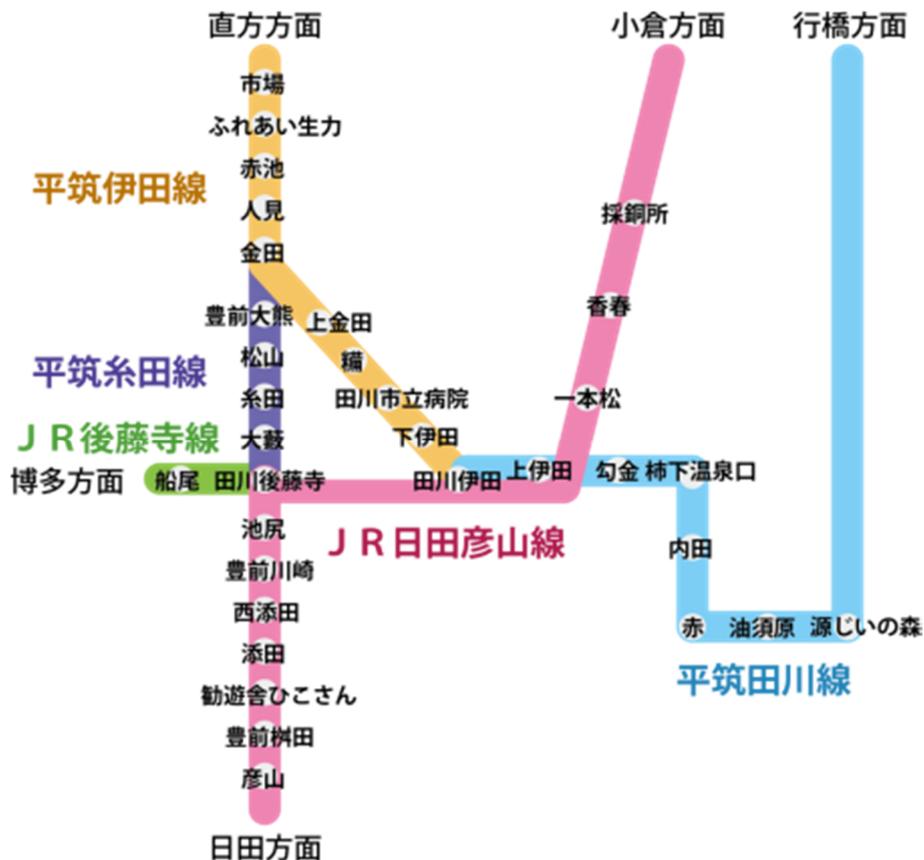
路線	区間	運行本数(本)						概要
		平日		土休日		合計		
		下り	上り	下り	上り	平日	土休日	
伊田線	直方～金田	38	38	32	32	76	64	5時台～23時台(朝15分、日中30分間隔)
	金田～田川伊田	31	32	24	25	63	49	5時台～23時台(朝夕20分～30分、日中60分間隔)
糸田線	金田～田川後藤寺	19	19	18	18	38	36	5時台～22時台(朝30分、日中60分間隔)
田川線	行橋～犀川	25	25	20	20	50	40	5時台～23時台(朝夕30分、日中60分間隔)
	犀川～田川伊田	22	22	18	18	44	36	5時台～22時台(朝夕20分～30分、日中60分間隔)

【JRの運行状況】

- 営業線名：日田彦山線：城野～田川後藤寺～夜明間（68.7km）24 駅
後藤寺線：新飯塚～田川後藤寺間（13.3km）6 駅
- 旅客運賃：普通旅客運賃（対キロ区間制） 初乗り 160 円

路線	区間	運行本数(本)						概要
		平日		土休日		合計		
		下り	上り	下り	上り	平日	土休日	
日田彦山線	小倉～田川後藤寺	28	29	27	28	57	56	5時台～23時台(朝夕30分、日中60分間隔)
	田川後藤寺～添田	18	21	18	20	39	39	5時台～23時台(朝夕30分、日中60分間隔)
	添田～日田	10	12	10	11	22	22	6時台～21時台(朝30分、日中60分～120分間隔)
後藤寺線	新飯塚～田川後藤寺	26	26	26	26	52	52	5時台～22時台(朝夕30分、日中60分間隔)

【平成筑豊鉄道とJRの路線図】



(6) 中心市の都市機能の集積状況

- 田川市における医療、福祉、教育等に係る都市機能の集積状況は以下の通りです。

【田川市における都市機能の集積状況】

分類	都市機能		施設名
医療	二次救急医療体制		田川市立病院、社会保険田川病院、村上外科病院
	がん診療連携拠点病院		社会保険田川病院
	災害拠点病院		田川市立病院
	休日・夜間救急医療		田川地区急患センター
福祉	老人福祉施設等		養護老人ホーム 1、特別養護老人ホーム 4、軽費老人ホーム 1、介護老人保健施設 3、有料老人ホーム 9 など
	障害者福祉施設等		指定障害者福祉サービス事業所 71 障害児支援事業所 15
	保育施設	公立	田川市立北保育所、田川市立中央保育所、田川市立西保育所
私立		伊加利子鳩保育園、伊田保育園、歓喜保育園、慶興保育園、西行寺保育園、西福寺保育園、慈光保育園、白鳥保育園、宝保育園、田川鎮西保育園、ちびっ子保育所、徳成寺みのり保育園、夏吉保育所、紅百合保育園、松原保育園、無量寺保育園、弓削田保育所	
教育	高等学校		福岡県立東鷹高等学校 福岡県立田川科学技術高等学校 福岡県立西田川高等学校 福智高等学校
	大学		福岡県立大学
	専門校		福岡県立田川高等技術専門校
文化・ 体育	大型文化ホール		田川文化センター、田川青少年文化ホール
	美術館・博物館		田川市美術館、中村美術館、田川市石炭・歴史博物館
	図書館		田川市立図書館
	体育施設		田川市こがねが丘陸上競技場、田川市総合グラウンド、田川市総合体育館・トレーニングセンター・弓道場、田川市民球場・猪位金球場、田川市民テニスコート
	都市公園		伊田公園、岩屋公園、上伊田公園、成道寺公園、城山公園、白鳥ふれあい自然公園、石炭記念公園、大法山公園、辰巳公園、棚木公園、中央公園、月見台公園、東町公園、平原緑地、糞公園、松山公園、丸山公園、三井平原公園
商業・ 娯楽	大規模小売店舗		ミスターマックス田川バイパス店、ホームプラザ・ナフコ田川店、サンリブ田川店、ホームワイド田川店、ハイパーモールメルクス田川店、ヤマダ電機テックランド福岡田川店、スーパードラッグコスモス田川松原店・田川後藤寺店、スーパーセンタートライアル田川店・田川後藤寺店
	ゴルフ(練習)場		富士カントリー倶楽部
	遊泳用プール		田川市市民プール
交通	鉄道網		JR 後藤寺線、JR 日田彦山線、平成筑豊鉄道伊田線・糸田線・田川線
	駅		田川伊田駅、田川後藤寺駅ほか
	西鉄バス路線		筑豊(特急)福岡線、筑豊(急行)福岡線、田川(快速)小倉線、金田方城線、添田線
	国道		201号、322号

3. 圏域の将来像

(1) 圏域の課題

田川圏域は、歴史的には豊前の国の豊かな穀倉地帯として成長してきた地域であり、明治から昭和にかけては筑豊炭田の炭坑町として繁栄してきました。豊富な石炭資源を活用し日本の成長を支えてきましたが、1960年代以降のエネルギー革命などの社会的要因により炭鉱閉山が続き、主力産業の衰退、人口流出が進みました。

また、近年、全国的な人口減少が続く中、田川圏域においても同様の傾向が進展し、過疎化と高齢化の波を大きく受けた自治体も多く、糸田町を除く7市町村が過疎地域に指定されています。

将来的にも少子化や人口減少が見込まれており、現在増加している高齢者も早晩減少に転じることが予想されています。しかし、高齢化率は今後も高い水準に留まる見込みであり、高齢者をはじめとする福祉面の取組を充実させていく必要があります。

圏域人口は平野部に多く集積し、山間部に向かって高齢化率が高くなっています。平野部の田川市では昼間人口が多く、病院や高等学校といった施設の多くが立地していますが、近隣自治体には病院のない町村も存在しており、中心市と近隣町村の連携強化が必要な状況となっています。

一方で圏域に広く鉄道網が分布していることから、これを活用した公共交通網の充実を図ることが求められます。

また、産業面では、圏域経済を支えていくために、生産性の高い産業にシフトしていくことが求められているとともに、一部地域に偏っている観光振興の取組を地域全体に広げていくことが必要になります。

(2) 圏域の将来像

田川圏域では、地域を取り巻く厳しい現状をふまえて、地域の活性化を通じて、人口減少の傾向を抑制していくことが必要であり、圏域全体として、それぞれの自治体の取組を尊重しつつ、その成果を拡大するため、田川圏域の1市6町1村が連携していくことが重要です。

なお、将来にわたって圏域を維持・発展させていくために、各自治体が協力して効率的な行政システムの構築や公共サービスの維持・充実に取り組むことや、観光や交通面の連携を通じて地域の生活環境や魅力の向上を図るとともに、教育環境の整備や地域を支える人材を育成することで、圏域住民が将来にわたって安心して生活し続けることができるまちづくりを目指します。

田川広域定住自立圏 将来像のイメージ

圏域の現況

- ◆ 人口流出・少子高齢化が進行しており、教育、医療、福祉、公共交通といった都市機能の充実や行政サービスの維持が課題

基本的方向

地域の活性化を通じて、人口減少傾向を抑制

各自治体の取組を尊重しつつ、その成果を拡大するために、圏域各市町村が連携

取組の視点

効率的な行政システムの構築

公共サービスの維持・充実

観光や交通面の連携を通じて、生活環境や魅力を向上

教育環境の整備・地域を支える人材の育成

目指す姿

圏域住民が将来にわたって安心して生活し続けることができるまちづくり

将来人口

2010年実績値 (平成22年)	2015年実績値 (平成27年)	2025年[目標値] (平成37年)	2040年[目標値] (平成52年)
134,548人	126,104人	119,057人	108,433人

4. 具体的な取組

圏域の将来像を実現するための具体的な取組として、本ビジョンにおいては以下の事業を掲げます。

視点	分野	取組事項	具体的な取組
生活機能の強化	1 教育	誰もが等しく教育を受けられる環境の整備	奨学金事業の広域実施
			田川地区急患センターの運営
	2 医療	休日・夜間における医療体制の構築	病院群輪番制の運営
			在宅当番医制の運営
			介護保険の広域運営
	3 福祉	住民の福祉向上のための広域施策の推進	予防接種の広域実施
			障害者相談の支援
			地域活動支援センターの運営
			シルバー人材センターの運営支援
			田川広域観光協会を核とした観光事業の推進
	4 産業振興	広域観光の推進	田川まるごと博物館事業の推進
			田川まるごと博物館事業の推進
	5 その他	住民生活に密接に関係する事務の広域実施	ごみ処理施設の広域運営
し尿処理施設の広域運営			
斎場の広域運営			
消防事務の広域実施			
結びつきやネットワークの強化	1 地域公共交通	地域に見合った公共交通体系の構築	地域公共交通網の再編
	2 デジタル・デバイドの解消へ向けたICTインフラ整備	自治体情報機器の広域利用	総合行政ネットワーク機器の広域利用
圏域マネジメント能力の強化	1 人材の育成	地域を支える人材の育成	将来のリーダー等を養成する塾の開催
			市町村職員の合同研修の開催

事業名		奨学金事業の広域実施				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 1 教育」 奨学金事業の広域実施等、誰もが等しく教育を受けられる環境を整備する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		経済的理由により修学が困難な者に対して、圏域内の市町村が一体となって、統一した内容の奨学金を給付することにより、有用な人材の育成、教育の機会均等及び教育環境の改善に資する。				
期待される効果		返済の必要のない給付型奨学金事業を行うことで、家庭環境等から進学を断念せざるを得ない者の進学を後押しし、圏域の将来を担う人材を育成する。				
役割分担	中心市（甲）	制度設計で中心的な役割を担うとともに、乙と連携して奨学金事業を実施する。				
	連携町村（乙）	甲と連携して奨学金事業を実施する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		23,904	40,186	56,506	72,826	76,666
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		給付型奨学金利用者数（累計）		未実施（0人）	350人	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		田川地区急患センターの運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 2 医療」 田川地区急患センターの運営、病院群輪番制の運営、在宅当番医制の運営等、休日・夜間における医療体制を構築する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		日曜・祝日・土曜日並びに平日夜間の急病患者的の応急診療を確保するため、急患センターの運営を行う。				
期待される効果		圏域内の病院・診療所等の医療機関の連携を軸に、休日・夜間における急患診療体制を維持・充実させることで、圏域住民の日常生活における安心感の醸成を図る。				
役割分担	中心市（甲）	急患センターの運営を行う。				
	連携町村（乙）	甲に対して、急患センターの運営に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
成果指標（KPI）		指標	現状値 （平成 28 年度）		目標値 （平成 33 年度）	
		開設日数 診療科目	366日（通年） 平日：内科 土曜：内科、小児科 休日（盆、年末年始含む） ：内科、小児科、外科		365日（通年） 平日：内科 土曜：内科、小児科 休日（盆、年末年始含む） ：内科、小児科、外科	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		病院群輪番制の運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 2 医療」 田川地区急患センターの運営、病院群輪番制の運営、在宅当番医制の運営等、休日・夜間における医療体制を構築する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川医師会及び田川地区の救急病院に業務を委託し、田川医師会の主導により、病院間で輪番制を組み、休日及び夜間の二次救急診療にあたる。				
期待される効果		圏域内の病院・診療所等の医療機関の連携を軸に、休日・夜間における急患診療体制を維持・充実させることで、圏域住民の日常生活における安心感の醸成を図る。				
役割分担	中心市（甲）	病院群輪番制の運営を委託する。				
	連携町村（乙）	甲に対して、病院群輪番制の運営に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————▶				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		32,965	32,965	32,965	32,965	32,965
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		参加機関数		6	6	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		在宅当番医制の運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 2 医療」 田川地区急患センターの運営、病院群輪番制の運営、在宅当番医制の運営等、休日・夜間における医療体制を構築する				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川医師会及び田川地区産婦人科病院と業務委託契約を締結し、田川医師会主導により、病院間で在宅当番を組み、休日の産婦人科救急医療にあたる。				
期待される効果		休日・夜間における産婦人科の急患診療体制を維持・充実させることで、出産に関する不安が軽減され、少子化の抑制につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	在宅当番医制の運営を委託する。				
	連携町村（乙）	甲に対して、在宅当番医制の運営に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————▶				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		4,044	4,044	4,044	4,044	4,044
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		参加機関数		3	3	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		介護保険の広域運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 3 福祉」 介護保険の広域運営、予防接種の広域実施、障害者相談の支援、地域活動支援センターの運営、シルバー人材センターの運営支援等、住民の福祉向上のための広域施策を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		福岡県介護保険広域連合に加入し、田川・桂川支部において、被保険者の認定業務や保険給付に関する業務を連携して行う。				
期待される効果		広域で連携して事務を行うことにより、保険運営事務の円滑化・効率化を図り、公平で安定した介護保険制度の運営を行う。				
役割分担	中心市（甲）	福岡県介護保険広域連合に費用の負担を行うとともに、人員の派遣を行う。				
	連携町村（乙）	福岡県介護保険広域連合に費用の負担を行うとともに、人員の派遣を行う。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		2,646,393	2,646,393	2,646,393	2,646,393	2,646,393
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		認定審査会取扱件数		12,393 件	12,400 件	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		予防接種の広域実施				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 3 福祉」 介護保険の広域運営、予防接種の広域実施、障害者相談の支援、地域活動支援センターの運営、シルバー人材センターの運営支援等、住民の福祉向上のための広域施策を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		予防接種法に基づいてワクチンの予防接種を市郡統一価格にて接種できるよう協議し、医師会に委託して個別接種を実施する。				
期待される効果		予防接種に関する手続きを共通化することにより、効率的な事務処理を行うとともに、圏域住民にとって接種しやすい環境を整えることで接種率の向上を図り、圏域住民の健康維持につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	単価決定等の事務について、中心的な役割を担うとともに、決定した単価で、医師会に委託し予防接種事業を行う。				
	連携町村（乙）	決定した単価で、医師会に委託し予防接種事業を行う。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		386,661	386,661	386,661	386,661	386,661
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 27 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		MR（麻しん・風しん混合） ワクチン接種率		89.8%	92.0%	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		障害者相談の支援				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 3 福祉」 介護保険の広域運営、予防接種の広域実施、障害者相談の支援、地域活動支援センターの運営、シルバー人材センターの運営支援等、住民の福祉向上のための広域施策を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		圏域で一体となって、障害者等からの相談に応じ、情報の提供・助言・障害福祉サービスの利用支援等といった必要な支援を行うとともに、虐待の防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整・障害者等の権利擁護のために必要な援助等を事業者に委託して行う。				
期待される効果		障害者等の抱える様々な問題に対し、圏域として支援体制の強化や情報交換等を進めることにより、利用しやすい環境の形成につなげ、障害者等の自立に向けた動きをより適切に支援する。				
役割分担	中心市（甲）	委託事業者の選定等で中心的な役割を担うとともに、障害者相談の支援を委託する。				
	連携町村（乙）	障害者相談の支援を委託する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		15,479	15,479	15,479	15,479	15,479
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 27 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		障害者等の相談件数		9,210 件	10,000 件	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		地域活動支援センターの運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 3 福祉」 介護保険の広域運営、予防接種の広域実施、障害者相談の支援、地域活動支援センターの運営、シルバー人材センターの運営支援等、住民の福祉向上のための広域施策を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		障害者支援事業のうち、創作活動や生産活動の機会の提供・社会との交流促進について、圏域で一体となって事業者へ委託して実施する。				
期待される効果		障害者等の抱える様々な問題に対し、圏域として支援体制の強化や情報交換等を進めることにより、利用しやすい環境の形成につなげ、障害者等の自立に向けた動きをより適切に支援する。				
役割分担	中心市（甲）	委託事業者の選定等で中心的な役割を担うとともに、障害者支援事業の一部を委託する。				
	連携町村（乙）	障害者支援事業の一部を委託する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		12,857	12,857	12,857	12,857	12,857
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		地域活動支援センター 登録者数		506人	850人	
活用を想定する補助制度等		地域生活支援事業費補助金（補助率：国 1 / 2、福岡県 1 / 4）				

事業名		シルバー人材センターの運営支援				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 3 福祉」 介護保険の広域運営、予防接種の広域実施、障害者相談の支援、地域活動支援センターの運営、シルバー人材センターの運営支援等、住民の福祉向上のための広域施策を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		高齢者の雇用確保に取り組むシルバー人材センターに対し、運営を支援する。				
期待される効果		高齢者の雇用創出及び健康・生きがいでつながり、かつ、圏域全体で取り組むことでより効率的な人材雇用・業務受注につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	圏域を代表してシルバー人材センターに補助金を交付する。				
	連携町村（乙）	甲に対して、シルバー人材センターの運営に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		14,411	14,411	14,411	14,411	14,411
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		シルバー人材センターの就業延人員		29,619人	29,600人	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		田川広域観光協会を核とした観光事業の推進				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 4 産業振興」 田川広域観光協会を核とした観光事業、田川まると博物館事業等、広域観光を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川広域観光協会を核として、圏域が一体となって、地域資源を活用した魅力ある地域づくりやまちづくりを推進し、交流人口拡大による地域活性化を実現する。				
期待される効果		圏域が一体となって、地域資源を有機的に結び付け、効率的にPRを行うことにより、県内外からの交流人口の増加にむけて相乗効果を上げる。				
役割分担	中心市（甲）	乙及び田川広域観光協会と連携して、交流人口拡大に向けた広域観光を推進する。				
	連携町村（乙）	甲及び田川広域観光協会と連携して、交流人口拡大に向けた広域観光を推進する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 27 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		観光入込客数		4,675,000 人	6,000,000 人	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		田川まると博物館事業の推進				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 4 産業振興」 田川広域観光協会を核とした観光事業、田川まると博物館事業等、広域観光を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川地域全体を博物館とみなし、魅力的な地域資源を展示物としてPRしていくことで、新しい田川のイメージを発信し、交流人口の拡大を図る。				
期待される効果		圏域の美しい自然、良質な伝統芸能・文化、豊富な炭坑関連施設などの地域資源を一体のものとして扱い、着地型観光商品（観光ルート・観光プラン等）を開発するとともに圏域全体をPRすることで、知名度の向上を図り、来訪客の増加につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	乙及び田川広域観光協会並びに福岡県と連携して、事業を推進する。				
	連携町村（乙）	甲及び田川広域観光協会並びに福岡県と連携して、事業を推進する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		3,868	3,868	3,868	3,868	3,868
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		観光入込客数		4,675,000 人	6,000,000 人	
活用を想定する補助制度等		広域連携プロジェクト負担金 （負担比率：福岡県 1 / 2、田川市郡 8 市町村 1 / 2）				

事業名		ごみ処理施設の広域運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 5 その他」 ごみ処理施設及びし尿処理施設の広域運営、斎場の広域運営、消防事務の広域実施等、住民生活に密接に係る事務の広域実施を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		圏域内の市町村が共同で新ごみ処理施設等を運営する。(平成34年度に運営開始を予定しており、それまでに運営内容を協議・決定する。)				
期待される効果		圏域内に現在3つあるごみ処理施設等を1つに統合し、圏域市町村で連携して運営することにより、費用の削減を図るとともに、より環境やエネルギー等に配慮した高度な施設の導入を図る。				
役割 分担	中心市(甲)	ごみ処理施設等の運営内容を協議・決定する。				
	連携町村(乙)	ごみ処理施設等の運営内容を協議・決定する。				
事業計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		—————→				
事業費見込(千円)		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		0	0	0	0	0
成果指標(KPI)		指標		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)	
		広域ごみ処理施設等の運営		未実施	運営内容の決定 (経費負担割合 など)	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		し尿処理施設の広域運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 5 その他」 ごみ処理施設及びし尿処理施設の広域運営、斎場の広域運営、消防事務の広域実施等、住民生活に密接に係る事務の広域実施を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		圏域内の市町村が共同でし尿処理施設を運営する。(平成32年度に運営開始を予定しており、それまでに運営内容を協議・決定する。)				
期待される効果		圏域内に現在3つあるし尿処理施設を1つに統合し、圏域市町村で連携して運営することで、費用の削減を図るとともに、処理能力や環境面等において、より高度な施設の導入を図る。				
役割分担	中心市(甲)	し尿処理施設運営を委託する。				
	連携町村(乙)	(6町村)し尿処理施設運営を委託する。 (大任町)し尿処理施設を運営する。				
事業計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		—————→				
事業費見込(千円)		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		0	0	0	220,000	220,000
成果指標(KPI)		指標		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)	
		広域し尿処理施設の運営		未実施	運営開始	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		斎場の広域運営				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 5 その他」 ごみ処理施設及びし尿処理施設の広域運営、斎場の広域運営、消防事務の広域実施等、住民生活に密接に係る事務の広域実施を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、田川地区斎場組合において、共同の火葬場を設置、運営する。				
期待される効果		斎場を圏域市町村で連携して運営することで、費用の削減を図るとともに、圏域の衛生的な生活環境の向上を図る。				
役割分担	中心市（甲）	斎場の運営のため、田川地区斎場組合を設置し、負担金を支出する。				
	連携町村（乙）	斎場の運営のため、田川地区斎場組合を設置し、負担金を支出する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		90,805	90,805	90,805	90,805	90,805
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		開設日数		通年 （1/1 のみ休日）	通年 （1/1 のみ休日）	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		消防事務の広域実施				
根拠とする協定の規定		「生活機能の強化に係る政策分野 5 その他」 ごみ処理施設及びし尿処理施設の広域運営、斎場の広域運営、消防事務の広域実施等、住民生活に密接に係る事務の広域実施を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		福岡県田川地区消防組合において、自治体消防に関する事務を共同で処理する。				
期待される効果		圏域内で発生した火災、救急及び救助について、圏域市町村で連携して運営することで、費用の削減を図るとともに、圏域住民の安全・安心の確保につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	消防事務の広域実施のため、福岡県田川地区消防組合を設置し、負担金を支出する。				
	連携町村（乙）	消防事務の広域実施のため、福岡県田川地区消防組合を設置し、負担金を支出する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		1,751,120	1,751,120	1,751,120	1,751,120	1,751,120
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年）	目標値 （平成 33 年）	
		救急出動件数		7,807 件	7,700 件	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		地域公共交通網の再編				
根拠とする協定の規定		「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 1 地域公共交通」 地域公共交通網の再編等、地域に見合った公共交通体系を構築する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川市郡 8 市町村が連携して、地域に見合った公共交通体系を構築する。				
期待される効果		圏域全体の公共交通網を対象として、調査・検討・再編することにより、圏域住民の需要に即した効率的な公共交通網を形成し、住民の利便性向上に資するとともに公共交通の運営改善につなげる。				
役割分担	中心市（甲）	乙と連携して、効率的な公共交通網に関する調査・検討を行い、地域に見合った公共交通体系を構築する。				
	連携町村（乙）	甲と連携して、効率的な公共交通網に関する調査・検討を行い、地域に見合った公共交通体系を構築する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		0	未定	未定	未定	未定
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 27 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		自治体運行バス利用者数		320,574 人	321,000 人	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		総合行政ネットワーク機器の広域利用				
根拠とする協定の規定		「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 2 デジタル・ディバイドの解消へ向けたICTインフラ整備」 総合行政ネットワーク機器の広域利用、たがわ情報セキュリティクラウドの共同利用等、自治体情報機器の広域利用を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		圏域内市町村が、総合行政ネットワーク（LGWAN）機器等を、共同で管理・利用する。				
期待される効果		システムを共同で管理・利用することで、情報化経費の削減、事務の効率化を図る。				
役割分担	中心市（甲）	LGWAN 機器等の管理業務を委託し、共同で利用する。				
	連携町村（乙）	甲に対し、LGWAN 機器等の管理、利用等に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————▶				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		21,181	24,384	24,549	24,714	24,714
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		共同利用参加自治体数		8	8	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		たがわ情報セキュリティクラウドの共同利用				
根拠とする協定の規定		「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 2 デジタル・ディバイドの解消へ向けたICTインフラ整備」 総合行政ネットワーク機器の広域利用、たがわ情報セキュリティクラウドの共同利用等、自治体情報機器の広域利用を推進する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川市郡8市町村及び近隣自治体と共同でたがわ情報セキュリティクラウド（TISC）を構築し、利用する。				
期待される効果		TISCを共同で構築することにより、初期投資経費及び維持管理経費の削減を図る。				
役割分担	中心市（甲）	乙と連携してTISCの構築を行い、共同で利用する。				
	連携町村（乙）	甲に対し、TISCの構築、利用等に必要な経費を負担する。				
事業計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		19,145	14,904	15,042	15,180	15,180
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成28年度）	目標値 （平成33年度）	
		TISCの構築		未構築	構築	
活用を想定する補助制度等		—				

事業名		将来のリーダー等を養成する塾の開催				
根拠とする協定の規定		「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 1 人材の育成」 将来のリーダー等を養成する塾の開催、市町村職員の合同研修の開催等、地域を支える人材を育成する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		圏域の子どもたちが、将来のリーダーとしての資質や社会性を身につけ、地域への愛着・誇りを持ち社会に貢献する人材として成長するよう、人材育成に取り組む。				
期待される効果		長期的に圏域を牽引する人材を輩出する。				
役割分担	中心市（甲）	乙及び福岡県と連携して、塾を開催する。				
	連携町村（乙）	甲及び福岡県と連携して、塾を開催する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		1,750	1,750	1,750	1,750	1,750
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		卒塾生（累計）		147名	322名	
活用を想定する補助制度等		広域連携プロジェクト負担金 （負担比率：福岡県 1 / 2、田川市郡 8 市町村 1 / 2）				

事業名		市町村職員の合同研修の開催				
根拠とする協定の規定		「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 1 人材の育成」 将来のリーダー等を養成する塾の開催、市町村職員の合同研修の開催等、地域を支える人材を育成する。				
連携する市町村名		田川市・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町				
事業の概要		田川市郡 8 市町村が合同で職員研修を開催する。				
期待される効果		圏域に関する共通課題の解決・他市町村との情報共有・職員間の交流促進等を図るとともに、研修に係る費用削減も図る。				
役割分担	中心市（甲）	乙と連携して、市町村職員の合同研修を開催する。				
	連携町村（乙）	甲と連携して、市町村職員の合同研修を開催する。				
事業計画		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		—————→				
事業費見込（千円）		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
		887	887	887	887	887
成果指標（KPI）		指標		現状値 （平成 28 年度）	目標値 （平成 33 年度）	
		合同研修実施回数		4 回	5 回	
活用を想定する補助制度等		—				

5. 資料編

(1) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催状況

回	日程	議 題
第1回	5月11日	<ul style="list-style-type: none">・ 定住自立圏構想について・ 田川広域定住自立圏形成に向けた取組について・ 田川広域定住自立圏共生ビジョン（案）について・ 懇談会の今後の開催について
第2回	5月29日	<ul style="list-style-type: none">・ 第1回共生ビジョン懇談会で共生ビジョン（案）に対していただいた意見について・ 共生ビジョン（案）における成果指標（KPI）の設定について・ 共生ビジョン（案）における将来人口の追加について・ 共生ビジョン（案）におけるその他の変更点について・ 懇談会の今後の開催について

(2) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

分野	氏名	所属及び役職	備考
学識経験者	松浦 賢長	公立大学法人福岡県立大学 理事	会長
教育	佐藤 博英	田川地区県立学校長会 会長	
医療	百武 宏幸	一般社団法人田川医師会 理事	
福祉	佐々木 陽子	田川地区介護サービス事業所協議会 会長	
観光	奥 昇治	一般社団法人田川広域観光協会 事務局長	
交通	油布 進	九州旅客鉄道株式会社 筑豊篠栗鉄道事業部企画課長	
まちづくり	今村 寿人	公益社団法人田川青年会議所 理事長	
広域連携	新 博司	福岡県 企画・地域振興部広域地域振興課地域企画監	副会長

(3) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 田川広域定住自立圏共生ビジョンの策定又は変更について、関係者の意見を幅広く反映させるため、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付け総行応第39号総務事務次官通知）に基づき、田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 懇談会は、田川広域定住自立圏共生ビジョンの策定又は変更に関し、幅広い視点から協議し意見を述べる。

(組織)

第3条 懇談会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 田川広域定住自立圏形成協定の取組事項に関連する分野の関係者

(3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(会長及び副会長)

第4条 懇談会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 懇談会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(設置期間)

第6条 懇談会の設置期間は、この要綱の施行の日から共生ビジョンの計画期間が満了するまでとする。

(庶務)

第7条 庶務は、田川市総務部総合政策課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が懇談会の会議に諮り定める。

附 則

この要綱は、平成29年5月11日から施行する。